県道太田上町志度線道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告

多肥北原遺跡

2012.3

香川県教育委員会

序文

本書は、県道太田上町志度線の改築工事に伴い発掘調査を実施した香川県高松市多肥上町の多肥北原 遺跡の報告を収録したものです。

本遺跡では7世紀~奈良時代頃の竪穴建物及び掘立柱建物が見つかりました。当時期の集落遺跡は、 高松平野で数少ないものです。また、平安時代の緑釉陶器、灰釉陶器や瓦が出土しており、当遺跡近隣 に所在が推定されている古代寺院との関わりが考えられます。

本報告書が、香川県の歴史研究の資料として広く活用されますとともに、埋蔵文化財に対する理解と関心が一層深められる一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から出土品の整理・報告に至るまでの間、関係機関並びに地元関係者 各位には多大なご援助とご協力をいただきました。ここに深く感謝申し上げますとともに、今後ともご 支援賜りますようお願い申し上げます。

> 平成24年3月 香川県埋蔵文化財センター 所長 藤好 史郎

例言

- 1 本報告書は、県道太田上町志度線道路改築工事に伴い発掘調査を実施した、香川県高松市多肥上町 に所在する多肥北原遺跡(たひきたはらいせき)の報告を収録した。
- 2 発掘調査は、香川県埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 発掘調査期間は、次のとおりである。

平成 21 年度

期間 平成21年8月1日~平成22年3月31日

担当 文化財専門員 山下平重、文化財専門員 蔵本晋司、調査技術員 今井千佳子

- 4 調査にあたって、次の関係機関の協力を得た。記して謝意を表したい。(順不同、敬称略) 香川県高松土木事務所、道佐古自治会、多肥東水利組合
- 5 報告書の作成は、香川県埋蔵文化財センターが実施した。執筆・編集は、山下平重が担当した。
- 6 報告書で用いる座標系は国土座標第Ⅳ系(世界測地系)で、方位の北は国土座標第Ⅳ系による。また、標高は東京湾平均海水面を基準とした。
- 7 遺構は次の略号により表示した。
 - SH
 竪穴建物
 SB
 掘立柱建物
 SP
 柱穴
 SK
 土坑
 SD
 溝状遺構

 SX
 その他の遺構
 SR
 自然河川
- 8 第3章遺構名の後の()内の表記は、付図での遺構の位置する区画(20 m四方)を示している。
- 9 石器実測図中、網掛けで表現している部分は摩滅痕を、輪郭線周りの実線は潰れを、同じく破線は 顕著な研磨あるいは摩滅を、同じく点線はあまり顕著でない研磨あるいは摩滅をそれぞれ表す。剥 離面の風化の程度が違う場合、新しい剥離面は黒丸で、古い剥離面は白丸で表す。なお、現代の折 損面は黒でつぶしている。石器石材は特に表記がない限りサヌカイトである。
- 10 本遺跡出土の金属器(耳環)の保存処理は、財団法人元興寺文化財研究所に委託して実施した。
- 11 遺構断面図の水平線上の数値は、水平線の標高値(単位m)である。

12 土器観察表中の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖 2010 年版』を参照した。胎土中の砂粒の「粗」は径 4mm 以上、「中」は 0.5mm 以上、「細」は 0.5mm 未満を基準とした。また、残存率は遺物の図化部分に占める割合であり、完形品に対する割合ではない。

地図は国土地理院地形図を使用しました。

本文目次

第1章 調	 査に至る経緯と経過
第1節	調査に至る経緯・・・・・・・・・・・・1
第2節	調査の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第3節	調査体制・整理体制・・・・・・・・・・・2
第2章 遗	遺跡の立地と環境
第1節	地理的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
第2節	歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・4
第3章 誹	雪査の成果
第1節	調査区の概要と層序・・・・・・・・・・・9
第2節	遺構と遺物・・・・・・・・9
1	7世紀~奈良時代・・・・・・・・・・・・9
2	平安時代 · · · · · · · 38
3	中世以降 · · · · · · 38
4	ピット等出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
5	包含層等出土遺物 · · · · · · 42
6	出土石器及び金属器・・・・・・・・・・・・・・・・・42
第4章 ま	ミとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

挿図目次

第1図	遺跡位置図・・・・・・1	第 29 図	SB04 平・断面図、出土遺物・・・・・・・ 29
第2図	周辺の遺跡・・・・・・5	第 30 図	SK03 平·断面図、出土遺物 ····· 30
第3図	調査区割図・・・・・・6	第 31 図	SK10 平·断面図 ······ 30
第4図	遺構配置図・・・・・・7	第 32 図	SK11 平·断面図 ······ 30
第5図	1 区調査区壁土層断面図・・・・・・・・・10	第 33 図	SK13平·断面図、出土遺物 ·····31
第6図	2区調査区壁土層断面図・・・・・・・・・11	第 34 図	SK14 平·断面図 ······ 31
第7図	3 区調査区壁土層断面図・・・・・・・・12	第 35 図	SK20平·断面図、出土遺物 ·····32
第8図	4 区調査区壁土層断面図・・・・・・・・13	第36図	SK21・22 平・断面図、出土遺物 · · · · · · 33
第9図	7 · 8 区調査区壁土層断面図 · · · · · · · · · · 14	第 37 図	SD01 ~ 03 平・断面図、出土遺物 · · · · · · · 34
第10図	SH01 平・断面図、出土遺物15	第38図	SD14平·断面図、出土遺物 ······34
第11図	SH02 平·断面図、出土遺物 ····· 16	第 39 図	SD15平·断面図、出土遺物 ······35
第 12 図	SH03 平·断面図、出土遺物 ·····17	第 40 図	SD17 出土遺物 ······ 35
第 13 図	SH04 平・断面図、出土遺物 17	第 41 図	SD19平·断面図、出土遺物 ······36
第 14 図	SH05 平・断面図 ・・・・・・・ 18	第 42 図	SX02平·断面図、出土遺物 ····· 37
第 15 図	SH06 平・断面図、出土遺物 ・・・・・・・18	第 43 図	SX05 平·断面図 ······ 37
第 16 図	SH07 平・断面図、出土遺物 ・・・・・・19	第 44 図	SX10 平・断面図 · · · · · 38
第 17 図	SH08 平·断面図、出土遺物 ····· 20	第 45 図	SP136 出土遺物····· 38
第 18 図	SH09 平・断面図、出土遺物 ・・・・・・ 21	第 46 図	SK24平·断面図、出土遺物 ····· 39
第 19 図	SH10 平・断面図、出土遺物 ・・・・・・・ 22	第 47 図	SK01 平・断面図、出土遺物 ・・・・・・・ 40
第 20 図	SH11 平・断面図、出土遺物 ・・・・・・ 23	第 48 図	SK06 平·断面図 ····· 40
第 21 図	SH12 平・断面図、出土遺物 ・・・・・・・ 24	第 49 図	SK12 平・断面図 … 40
第 22 図	SH13 ~ 15 平·断面図 · · · · · · 25	第 50 図	ピット等出土遺物 1 ・・・・・・・41
第 23 図	SH13 ~ 15 出土遺物 · · · · · · 26	第 51 図	ピット等出土遺物 2 · · · · · · 42
第 24 図	SX16 平·断面図、出土遺物 ····· 26	第 52 図	包含層等出土遺物 1 · · · · · · 43
第 25 図	BSH01 平·断面図、出土遺物 · · · · · · 27	第 53 図	包含層等出土遺物 2 · · · · · · 44
第 26 図	SB01 平・断面図、出土遺物 ・・・・・・・28	第 54 図	包含層等出土遺物 3 · · · · · 45
第 27 図	SB02 平·断面図、出土遺物28	第 55 図	出土石器及び金属器・・・・・・・・・・・・・45
第 28 図	SB03 平·断面図、出土遺物 · · · · · · 29		

表目次

第1表	平成 21 年度発掘調査体制一覧表2	第4表	石器観察表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	59
第2表	平成23年度整理作業体制一覧表 … 2	第5表	金属器観察表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	59
第3表	土器観察表・・・・・・ 47			

図版目次

図版 1	図版4		
調査区全景 東から	4 🗵	完掘全景	東から
1区 完掘全景 東から	4 🗵	完掘全景	西から
図版 2	図版5		
1区 完掘全景 西から	5区	完掘全景	東から
2区 完掘全景 南から	5区	完掘全景	南から
図版3	図版 6		
2区 完掘全景 東から	6区	完掘全景	東から
3区 第2遺構面完掘全景 西	から 6区	完掘全景	西から

SH11 南北断面(北半) 東から 図版 7 7区 完掘全景 西から SH11 煙道断面 北から 7区 完掘全景 東から SH11 竈炭・焼土検出 南から SH11 竈断面 南から MILL NUMBER NU 1区 東壁土層断面(北端付近) 西から 1区 東壁土層断面(SX10付近) 西から 1区 南壁土層断面(SH06付近) 北から SH13 完掘 南から SH13 北壁焼土 東から SH13 東西断面(東半) 北から SH14 床面 南から SH14 土器出土状況 南から 1区 南壁土層断面 (SH05 付近) 北から 2区 南壁土層断面 (SH14 付近) 北から 2区 南壁土層断面 (SH13 付近) 北から 3区 北壁土層断面 (SH04 付近) 南から 3区 北壁土層断面(東端) 南から 図版 9 SH14 焼土 西から SH14 焼土 西から SH15 完掘 北から SH15 完掘 東から 図版 16 3区 南壁土層断面 (SH01 東半付近) 北から 3区 南壁土層断面 (SH01 中央付近) 北から 4区 北壁土層断面(SH07付近) 南から 4区 北壁土層断面(東端) 南から SH13·14·15 断面 北から 7区 南壁土層断面 (東半) 北から SX16 完掘 東から SX16 断面 東から 7区 南壁土層断面(西半) 北から SX16 竈付近焼土 東から 8区 南壁土層断面 (東半) 北から 8区 南壁土層断面(西半) 北から SX16 土器出土状況 南東から 図版 10 SB01 完掘 西から SH01 完掘 南から SB02 完掘 東から SH01 煙道断面 南から SB03 完掘 東から SH01 竈部分 東から 図版 17 SH01 竈部分 東から SB04 完掘 北から SH01 土器出土状況 南から SK03 礫出土状況 南から SH02・SD02 完掘 南から SK03 断面 南西から SK10 断面 南から SH02 南北断面(北半) 西から SH02 竈焼土出土状況 南から SK11 完掘 南から SK11 断面 東から 図版 11 SH02 竈完掘 南から SK13 完掘 南東から SH02 土器出土状況 北から SK13 土器出土状況 東から SH03 完掘 西から 図版 18 SH03 断面 南西から SK14 完掘 西から SH04 (東半) 完掘 東から SK20 礫出土状況 南から SH04 (東半) 断面 西から SK20 断面 北西から SH04 (西半) 完掘 南から SK21 断面 西から SH05 床面検出 北から SK22 断面 南東から 図版 12 SD01 完掘 南から SH05 断面 東から SD01 断面 南から SH06 竈袖部礫出土状況 南から SD02 断面 北から SH06 床面検出状況 南から 図版 19 SH06 断面 北から SD14 断面 東から SH06-SP130 断面 北から SD15 断面 南から SH06-SP131 断面 北から SD17 断面 西から SD19 断面 南から SH08 完掘 南から SH08 完掘 東から SX02 完掘 南から 図版 13 SX02 断面 南東から SH08 北壁炭・焼土出土状況 南から SX05 完掘 東から SH09 完掘 東から SX05 断面 東から SH09 完掘 南東から 図版 20 SH09 断面 南東から SX10 東から SH09 北壁焼土検出 南から SP136 土器出土状況 南から SH10 断面 東から SK24 礫・土器出土状況 東から SH11 竈完掘 南から SK24 土器出土状況 南から SK24 断面 南から SH11・13 完掘 南から 図版 14 SK24 完掘 北から SH11 壁溝検出 西から SK01 断面 東から SH11 煙道部検出 北から SK06 完掘 南から

図版 21

SK06 断面 北から SK12 完掘 南から SK12 断面 南東から 図版 22 ~ 30 出土土器 図版 31 出土金属器

付図

付図 多肥北原遺跡 遺構配置図 (1:150)

第1章 調査に至る経緯と経過

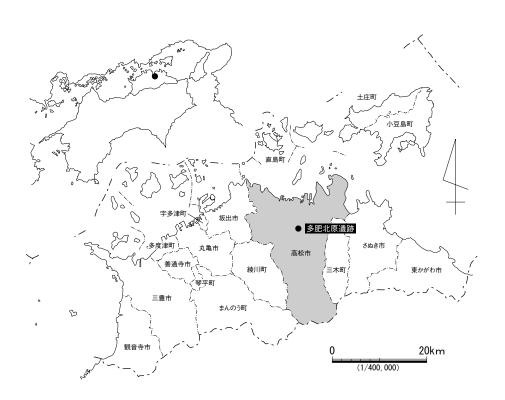
第1節 調査に至る経緯

県道太田上町志度線道路改築事業に伴い、香川県教育委員会では平成19年10月に試掘調査を実施した。調査の結果、調査地対象のうち1,052㎡で、古代の柱穴及び土器を確認したため、多肥北原遺跡(今回報告の東半部)として文化財保護法に基づく保護措置が必要と判断された。また、平成19年度試掘調査対象地の西側は、多肥北原遺跡の本発掘調査中であった平成21年9月に試掘調査が実施され、古墳時代後期以降の遺構や須恵器が確認されたため、1,034㎡について文化財保護法に基づく保護措置が必要と判断された。

第2節 調査の経過

発掘調査は、平成21年8月1日から平成22年1月31日までの予定であったが、道路工事との調整で、一部期間発掘調査ができなくなり、その間は、当遺跡の調査終了後に予定していた多肥北原西遺跡の調査を実施した。このため、調査終了は平成22年3月31日となった。調査対象面積2,086㎡、出土遺物33箱(28リットル入り)である。

整理作業は、平成23年8月1日から同10月31日まで実施した。



第1図 遺跡位置図

第3節 調査体制・整理体制

発掘調査及び整理作業の体制は、次のとおりである。

第1表 平成21年度発掘調査体制一覧表

香川県教育委員会事務	務局生涯学習・文化財課	香川県埋蔵	文化財センター
総括		総括	
課長	春山 浩康	所長	大山 眞充
課長補佐 (総括)	武井 壽紀	次長	深谷 右
総務・生涯学習推進グルー	プ	総務課	
副主幹	香西としみ	総務課長	深谷 右
主任	林 照代	副主幹	林 文夫
文化財グループ		主任	宮田久美子
主幹(兼)課長補佐	藤好 史郎	主任	古市 和子
主任文化財専門員	森 格也	主任	広瀬 健一
文化財専門員	小野 秀幸	主任	安藤 正
		調査課	
		調査課長	西岡 達哉
		文化財専門員	山下 平重
		文化財専門員	蔵本 晋司
		嘱託 (土木)	砂川 哲夫
		嘱託(調査技術員)	今井千佳子

第2表 平成23年度整理作業体制一覧表

香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課		香川県坦	香川県埋蔵文化財センター		
総括		総括			
課長	炭井 宏秋	所長	藤好 史郎		
課長補佐 (総括)	亀山 隆	次長	真鍋 正彦		
総務・生涯学習推進グル	ープ	総務課			
副主幹	香西としみ	総務課長	真鍋 正彦		
主任主事	丸山 千晶	副主幹	林 文夫		
文化財グループ		主任	古市 和子		
課長補佐	西岡 達哉	主任	中川 美江		
主任文化財専門員	森下 英治	主任	高木 秀哉		
文化財専門員	松本 和彦	主任	広瀬 健一		
		資料普及課			
		資料普及課長	森 格也		
		文化財専門員	山下 平重		

発掘作業に携わった方々は、次のとおりである。

調査補助員 東原 輝明

整理作業員 徳永 貴美

発掘作業員 池田 清敏 糸目八重子 稲垣 啓子 大西 行一 金本 勝行 菊池 寿章 常包 義男 中川 恒夫 中村 芳子 橋元 美和 百歩 静子 宮地恵美子 本井 俊彦 八木 和子 山田 勝富 和田 悦子 整理作業に携わった方々は、次のとおりである。

 今井
 真紀
 岡崎江伊子
 香川
 和子
 川井
 佐織
 北濱
 敦子

 香西
 栄理
 合田
 安里
 竹内
 悦子
 徳永
 貴美
 鳥谷真紀子

第2章 遺跡の立地と環境

第1節 地理的環境

今回調査を行った多肥北原遺跡は、南から北へ若干傾斜する平地に立地する。標高は 24.5 ~ 26 mである。東側隣接地の多肥平塚遺跡西端では旧河川跡が確認されており、この影響か、当遺跡では明瞭な方格地割は認められない。

第2節 歷史的環境

当遺跡の東側にある県立高松桜井高校付近では、ここ 20 年以内の発掘調査で、遺跡の存在が次第に明らかとなってきている。当遺跡の付近では、古代寺院多肥廃寺を除き、2007 年度から開始した県道太田上町志度線に伴う発掘調査によってようやく遺跡が知られてきた。以下、時期ごとに遺跡を紹介する。

縄文時代晩期から弥生時代前期の遺跡としては、多肥宮尻遺跡から縄文時代晩期の土器や弥生時代前期の木製鍬が出土している。やや北に離れた位置にある汲仏遺跡は、弥生時代前期の環濠集落である。弥生時代中期後半~後期前半には、多肥松林遺跡を中心に集落跡が検出されている。凹原遺跡では弥生時代終末の集落が見つかっている。なお空港跡地遺跡においても弥生時代前期の遺構や後期の集落が見られる。

古墳時代中期には、空港跡地遺跡の西端で、竈付竪穴建物を含む集落跡が見つかっている。多肥宮尻遺跡では、当時期の須恵器が出土する河川の祭祀跡と考えられる遺構が見つかっている。当時期の集落がこのあたりに広がる可能性がある。

7世紀から平安時代の遺跡としては、多肥廃寺が知られていたが、今回の発掘調査で当時期の竪穴建物や掘立柱建物が多数確認された。当時期の遺構は西側の多肥北原西遺跡と太田原高州遺跡でも確認されている。東西900mにわたり、当時期の遺跡が展開していることになる。なお、遺構ではないが、多肥北原西遺跡では10~11世紀頃の大地震に伴う墳礫が確認された。墳礫については、弥生時代中期のものが松林遺跡で知られている。

中世の遺跡としては、空港跡地遺跡が知られている。また、当遺跡東に隣接する多肥平塚遺跡からは 鎌倉時代頃と考えられる掘立柱建物が確認されている。

近世の遺跡としては、高木城跡の存在が考えられている。

周辺の遺跡

第2図

- 5 -

調査区割図

第3図

- 6 -



第4図 遺構配置図

第3章 調査の成果

第1節 調査区の概要と層序

調査地は、現状が水田及び宅地跡であり、ほぼ中央に道路がある。道路及び土地区画に合わせて、調 香区1~8区を設定した(第3図)。

1、2区は現状が水田で、耕作土下に遺物を多量に含む包含層(厚さ約10 cm)がある。ところどころに基盤層の礫の盛り上がりが見られ、遺物包含層がこの間に堆積するような状況も見られる。

3区は宅地跡であるが、旧水田層が残っている。1、2区と同様厚さ10 cm程度の包含層がある。

4 区は、現状は水田であった。北部に遺物包含層があるが、南部は耕作土直下基盤層となっており、 東半の基盤層は円礫層となっている。

5、6、7区は、基盤層が円礫の部分とシルトの部分が入り混じっており、包含層はほとんど見られなくなる。8区は撹乱が深くまで及んでおり、基盤層は細砂層となっている。

第2節 遺構と遺物

1 7世紀~奈良時代

竪穴建物

SHO1 (B4) (第10図)

平面形が方形の竈付竪穴建物である。SD02、SD03、SK03より古い。SH02との関係は不明である。竈部分には、完形の甕3が置かれていた。竈の袖、壁溝、主柱穴いずれも検出できなかった。出土遺物は、1は須恵器である。 $2\cdot 3$ は土師器である。ほかの建物跡と同じくTK217型式の時期と考えられる。

SH02(B4)(第11図)

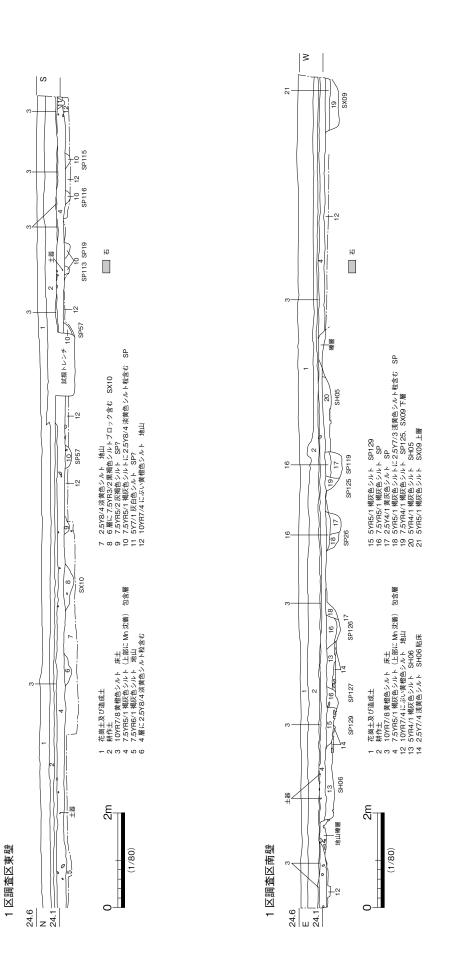
平面形が方形の竈付の竪穴建物である。SD02より古い。SH01との新旧関係は不明である。主柱穴、壁溝は検出できなかった。竈は袖がわずかに残存していた。SK08は竈前面の浅いくぼみと考えられる。出土遺物は、4は完形の須恵器である。5は竈内及び竈前面から出土した土師器である。

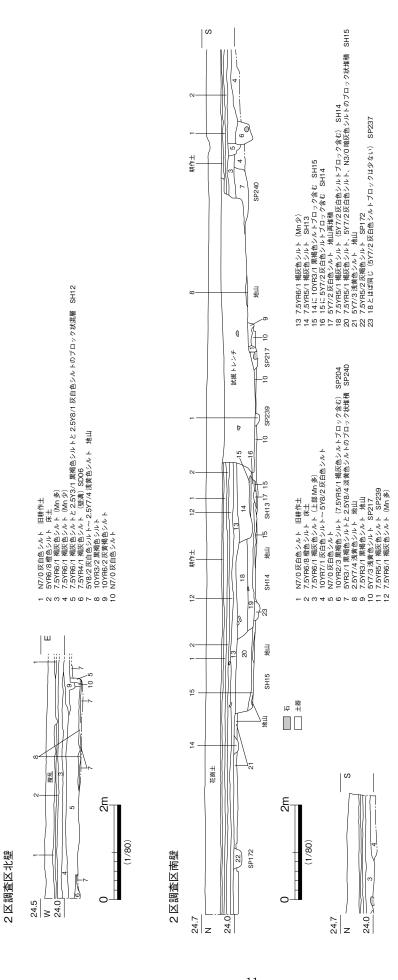
SHO3 (B4) (第12図)

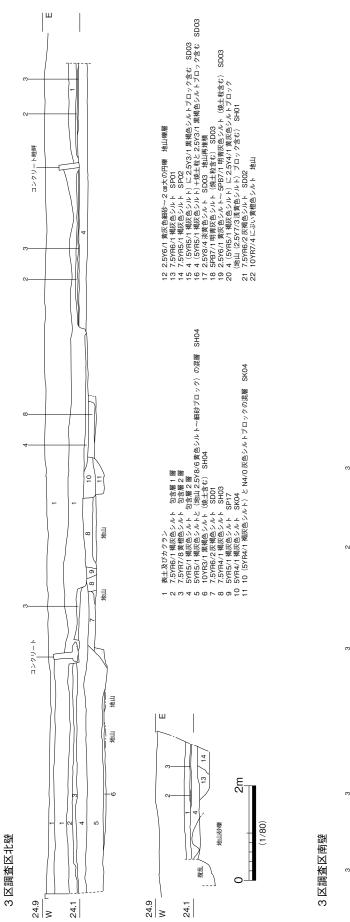
平面形が方形の竪穴建物と考えられる。SD01より新しく、SK04より古い。北辺は調査範囲外にあるため、竈があるかどうかは不明である。主柱穴及び壁溝は確認できなった。出土遺物は、 $6\sim9$ は須恵器である。10は土師器である。須恵器より TK217 型式の時期が考えられる。

SHO4 (B4) (第13図)

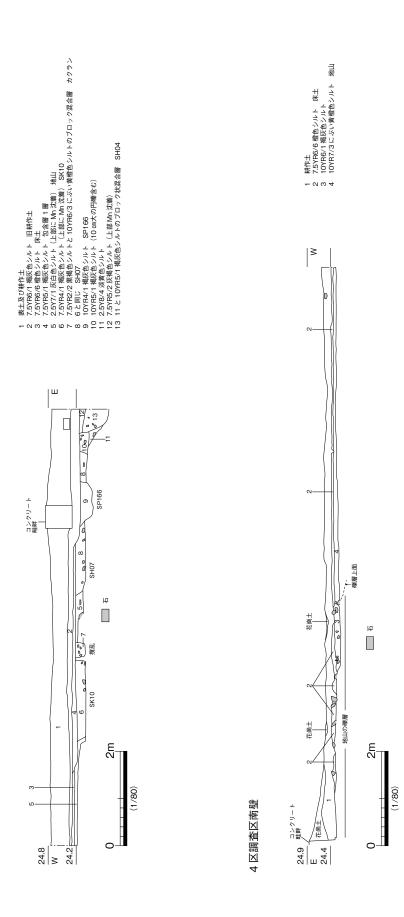
平面形が方形の竪穴建物である。南辺と西辺を検出した。壁溝及び主柱穴は確認できなった。出土遺物は、11 は須恵器である。12 は土師器である。須恵器から TK217 型式の時期が考えられる。



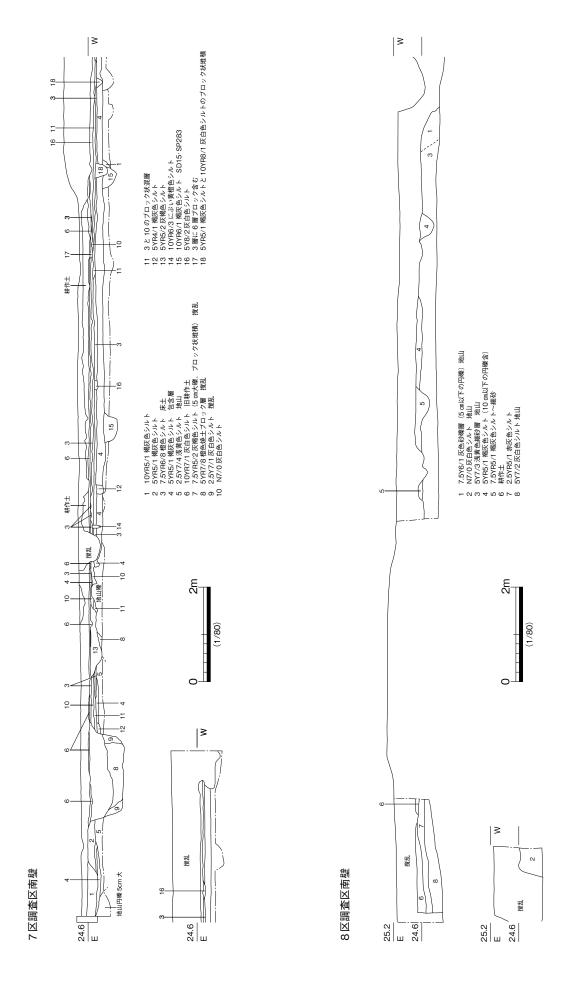




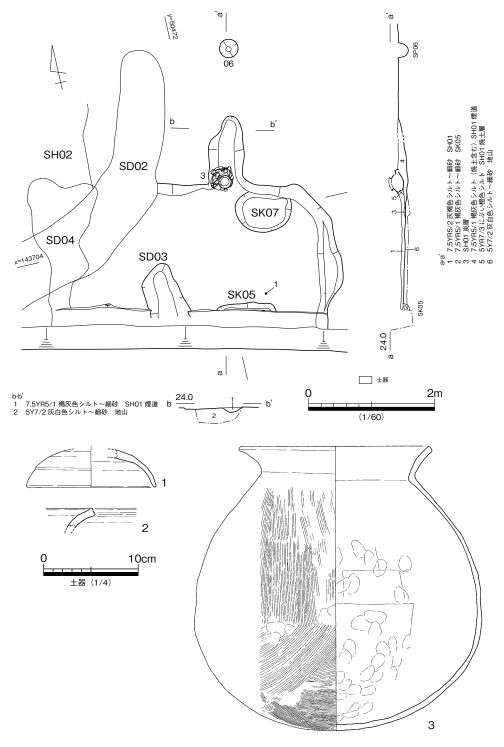
花崗岩 日 日 日 第 日 統十 器 25.0 E



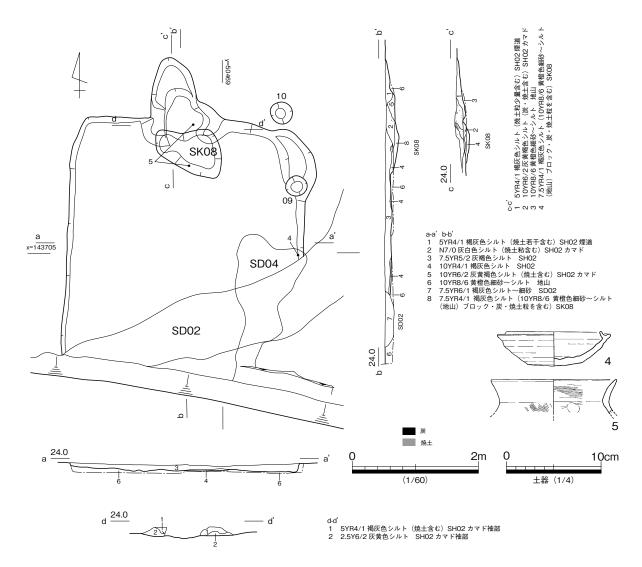
4 区調査区北壁



第9図 7・8区調査区壁土層断面図



第10図 SH01平・断面図、出土遺物



第11図 SH02平・断面図、出土遺物

SH05 (B5) (第14図)

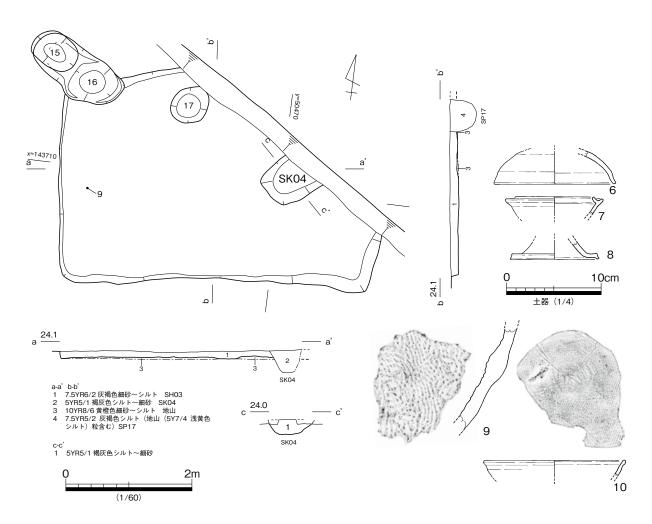
平面形が方形の建物の一部を検出した。壁溝の一部を検出した。実測可能な遺物は出土していない。

SHO6 (B5) (第15図)

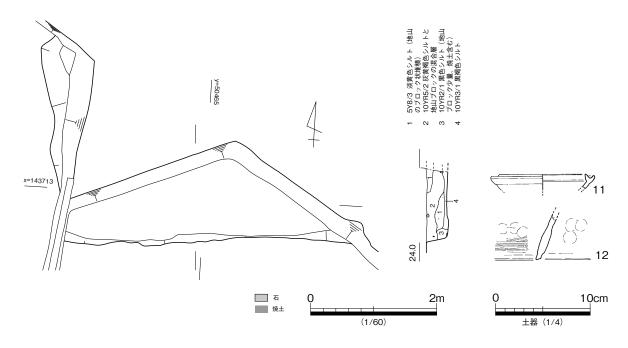
平面形が方形の建物の北半分を検出した。竈及び主柱穴 2 を検出した。竈袖はわずかに残存しているに過ぎない。出土遺物は、 $13\sim18$ は須恵器である。19 は製塩土器である。須恵器から TK217 型式以降の時期が考えられる。

SHO7 (B3,B4) (第16図)

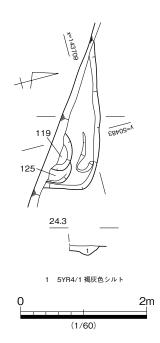
やや不定形であるが、竪穴建物の可能性がある。内部施設は確認できなかった。須恵器 20 が出土している。



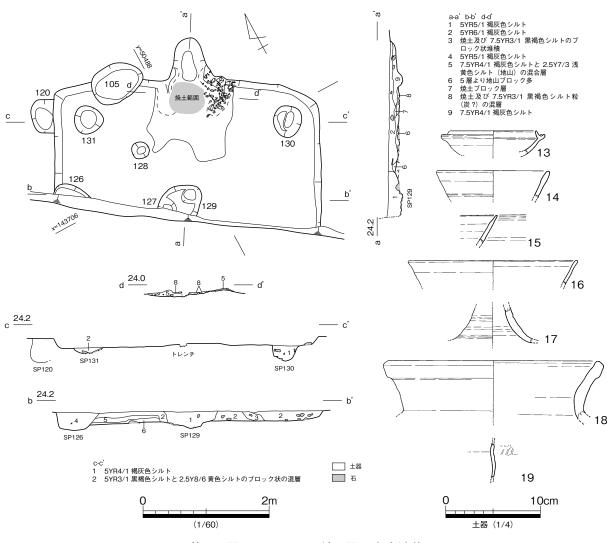
第12図 SH03平・断面図、出土遺物



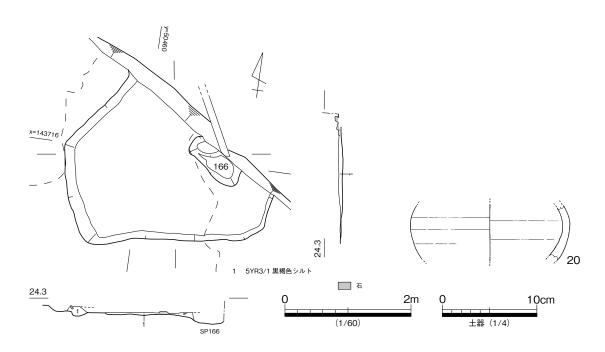
第13図 SH04平・断面図、出土遺物



第 14 図 SH05 平・断面図



第15図 SH06平・断面図、出土遺物



第16図 SH07平・断面図、出土遺物

SH08 (B3) (第17図)

平面形が方形の竪穴建物である。竈及び4主柱穴を確認した。竈の袖は確認できなかった。出土遺物は、21・22は須恵器である。21は床面から出土した。23は赤彩のある土師器である。須恵器から TK217型式の時期が考えられる。

SH09 (A4) (第18図)

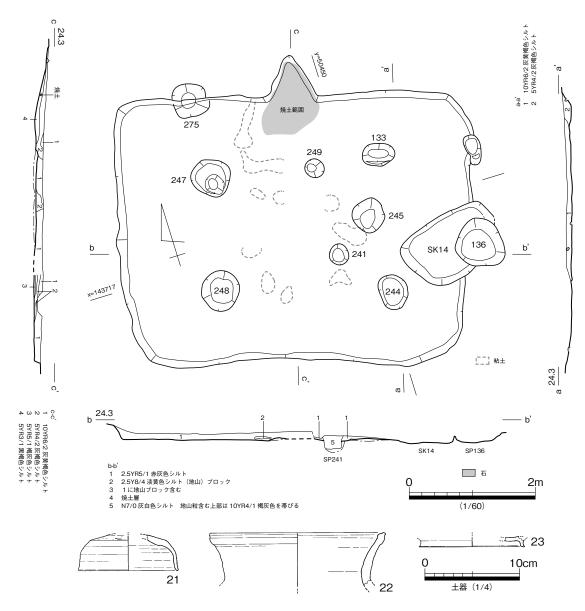
平面形が方形の建物である。北壁は検出できていないが、北壁付近の床面に焼土の広がりがみられることから、竈があるものと考えられる。壁溝を検出した。主柱穴らしきものがあるが、いずれも浅いため、疑問が残る。出土遺物は、 $24\sim33$ は須恵器である。 $34\sim37$ は土師器である。須恵器から TK217 型式の時期が考えられる。

SH10(A4,B4)(第19図)

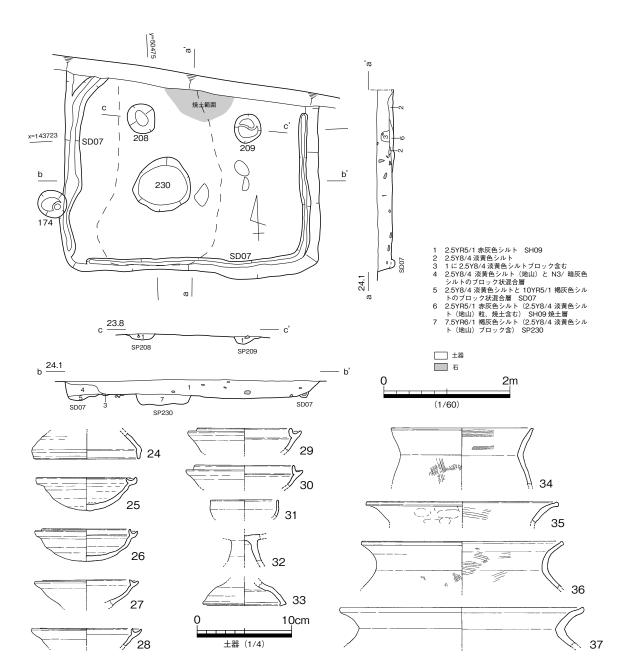
浅い平面形が方形の遺構である。竪穴建物かどうかは疑問が残る。出土遺物は、38・39は須恵器である。

SH11(A4)(第20図)

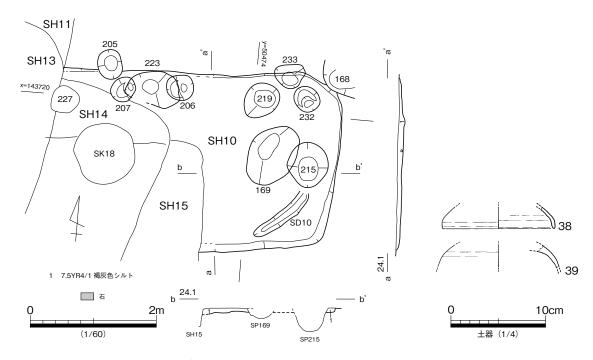
平面形が方形の竈付き竪穴建物である。SH13より古い。煙道の残りが良く、トンネル状になっている。土層からは、一度溝状に掘られたものを埋め戻してトンネル状に仕上げたものと考えられる。壁溝を確認したが、主柱穴は確認できなかった。40 は煙道から出土した須恵器である。41 は竈から出土した土師器である。42 は壁溝から出土した須恵器である。 $43 \sim 47$ は埋土から出土した須恵器である。 $48 \sim 52$ は埋土から出土した土師器である。須恵器から TK217 型式の時期が考えられる。



第17図 SH08平・断面図、出土遺物



第18図 SH09平・断面図、出土遺物



第19図 SH10平・断面図、出土遺物

SH12(A3,A4)(第21図)

平面形が方形の竪穴建物である。道路擁壁工事に伴う調査時に、東壁の延長部分を確認している。壁 溝を検出したが、主柱穴は確認できなかった。出土遺物は、53~55は須恵器である。56は土師器である。

SH13 (A4,B4) (第22·23図)

平面形が方形の竪穴建物である。SH11及びSH14より新しい。竈は検出できなかったが、北壁に焼土の広がりが認められた。一部壁溝を確認したが、主柱穴は確認できなかった。出土遺物は、57~61は須恵器である。62は土師器である。須恵器からTK217型式以降の時期が考えられる。

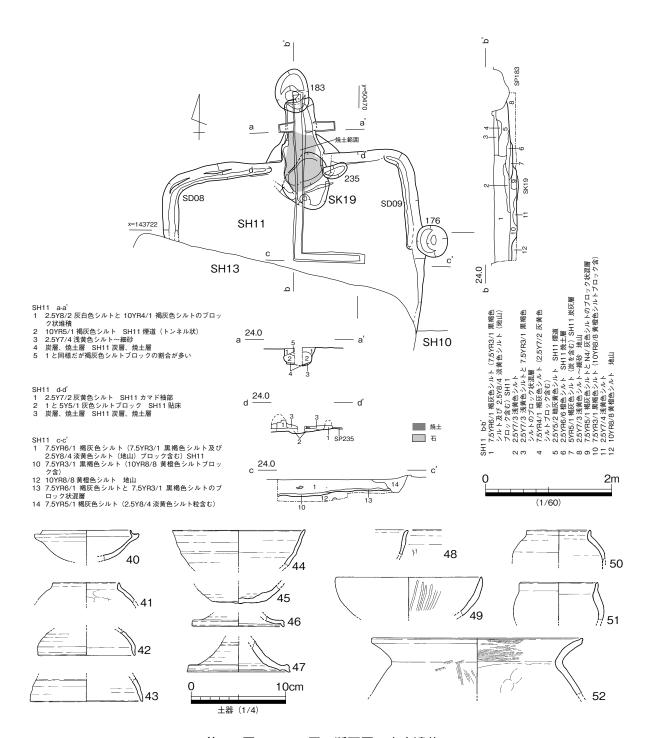
SH14(A4,B4)(第22·23図)

平面形が方形の竪穴建物である。SH13より古く、SH15より新しい。SH13との境界付近の 北壁付近に焼土及び炭の広がりがあり、ここに竈があったと考えられる。主柱穴及び壁溝は明確ではな い。63 は床面で出土した須恵器である。64 は床面付近で出土した土師器である。65 は埋土から出土し た土師器である。 $66\sim69$ は埋土から出土した須恵器である。須恵器から TK217 型式の時期が考えら れる。

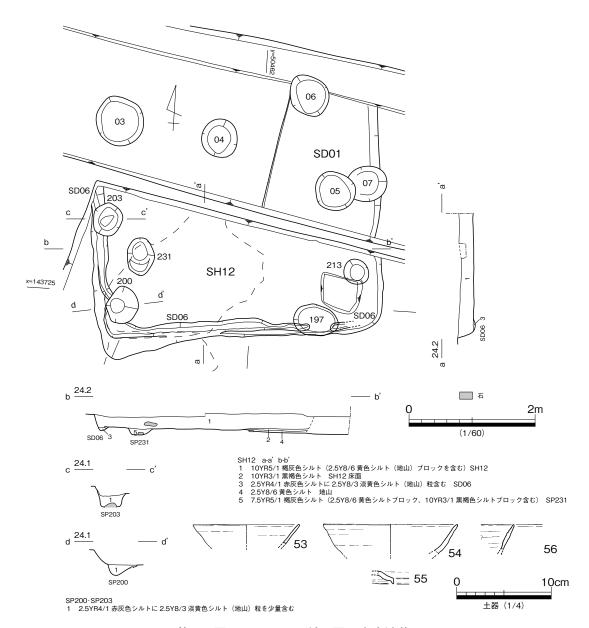
SH15 (A4,B4) (第22·23図)

平面形が方形の竪穴建物である。SH14より古い。壁溝を検出したが、竈及び主柱穴は確認できなかった。出土遺物は、70・71は須恵器である。

なお、須恵器 $72 \sim 74$ は、SH13、14、15の検出時に一つの遺構として考えていた段階に取り上げた遺物で、SH13、14、15のいずれに帰属するかは明らかではない。



第20図 SH11平・断面図、出土遺物



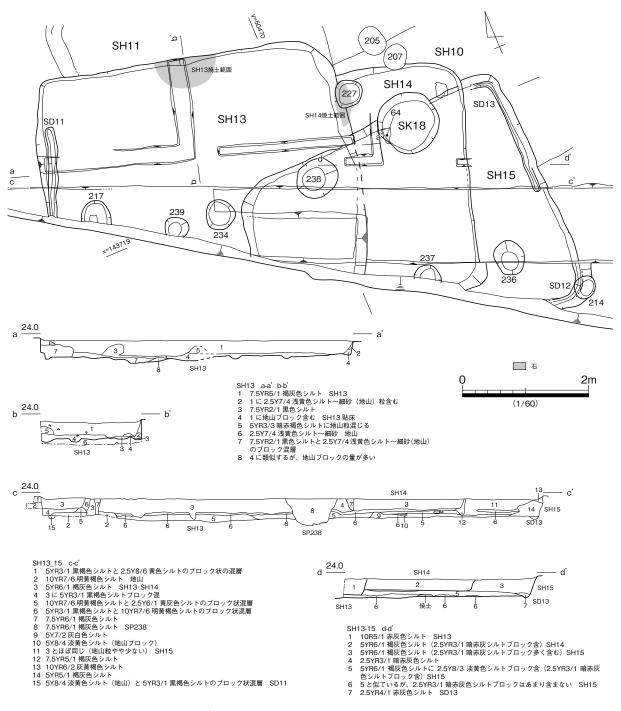
第21図 SH12平・断面図、出土遺物

S X 1 6 (B2) (第 24 図)

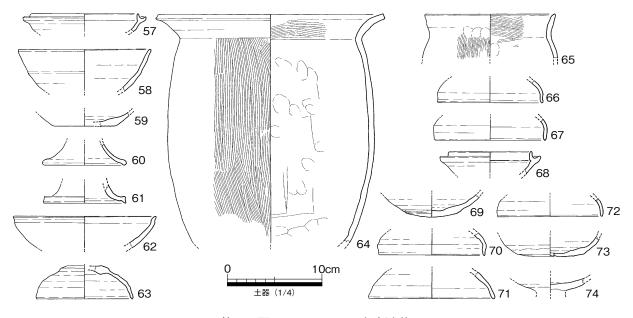
平面形が方形の竪穴建物である。当遺跡で唯一西壁に竈を持つ。主柱穴及び壁溝は確認できなかった。出土遺物は、75・76 は須恵器である。77・78 は土師器である。79 は鎌と考えられる。須恵器からTK217 型式の時期が考えられる。

BSHO1 (B4) (第25図)

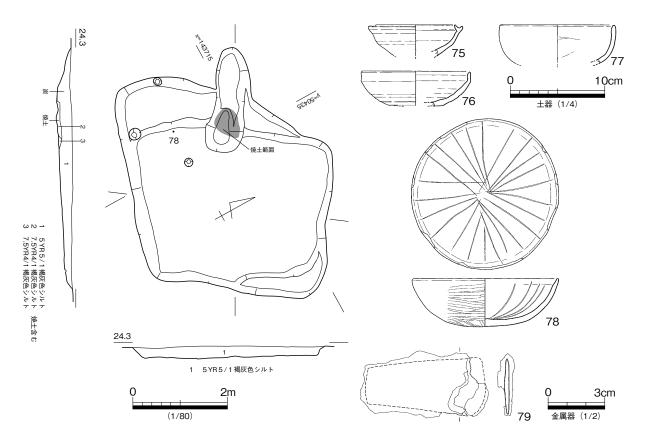
生涯学習・文化財課が実施した擁壁工事に伴う発掘調査時に検出した。平面形が方形の竈付建物である。壁溝を検出している。完形の須恵器 80 が、壁溝から出土している。TK217 型式の時期が考えられる。



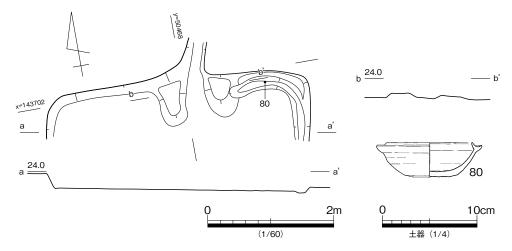
第22図 SH13~15平・断面図



第 23 図 SH13 ~ 15 出土遺物



第24図 SX16平・断面図、出土遺物



第25図 BSH01平・断面図、出土遺物

掘立柱建物

SB01(B4)(第26図)

柱穴 4 穴を検出した。西側には、延長の柱穴が確認されていない。主軸方位は、N 9 ° E である。S P 1 6 から須恵器 81 が出土した。TK217 型式の時期と考えられる。

SBO2(B5)(第27図)

規模は、2間(3.14 m)×3間(5.04 m)で、主軸方位は、N90°Wである。SP30から須恵器82~85、土師器86が出土した。SP34からは須恵器87・88、土師器89が出土している。SP40からは須恵器90が出土している。SP60からは須恵器91が出土している。SP65からは土師器92が出土している。須恵器91から、奈良時代前半の時期が考えられる。

SBO3 (B3.B4) (第28図)

規模は2間 $(3.7 \text{ m}) \times 3$ 間 (5.0 m) で、主軸方位はN12°E である。SP151からは須恵器93が出土している。SP153からは須恵器94が出土している。SP159からは須恵器95が出土している。須恵器から奈良時代半ばころの時期が考えられる。

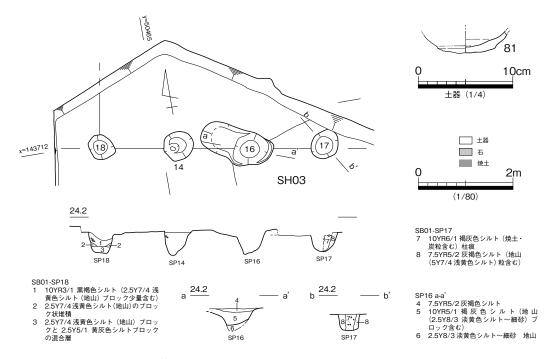
SBO4 (A1,A2) (第29図)

規模は、2間(2.9 m) × 3間(3.7 m) で、主軸方位は、N 5°E である。S P 3 2 5 から須恵器 96 が出土している。奈良時代前半頃と考えられる。

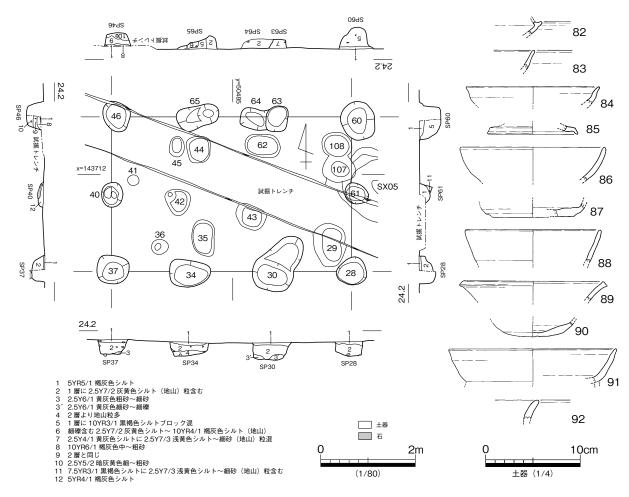
土坑

SK03(B4)(第30図)

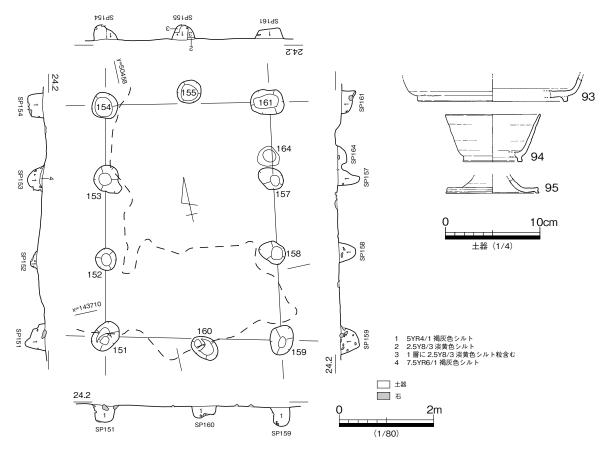
SH01より新しい浅い遺構である。小礫および土器片が少量出土している。須恵器 97 \sim 99 が出土している。TK217 型式の時期が考えられる。



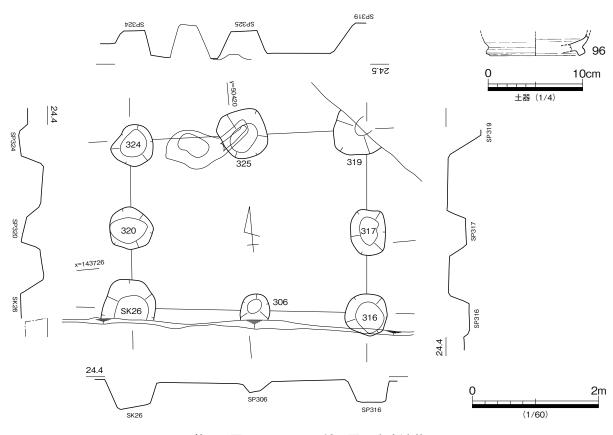
第26図 SB01平・断面図、出土遺物



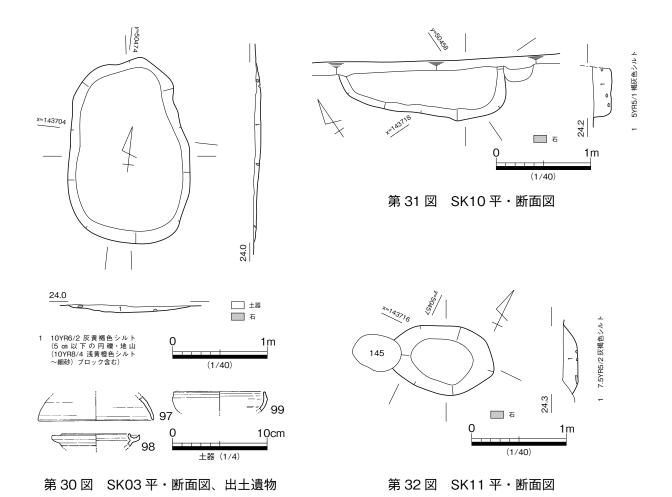
第27図 SB02平・断面図、出土遺物



第28図 SB03平・断面図、出土遺物



第29図 SB04平・断面図、出土遺物



SK10(B3)(第31図)

調査壁付近で検出した。実測可能な遺物は出土していない。

SK11(B3)(第32図)

遺物は出土していない。埋土から当時期と考えられる。

SK13 (B3) (第33図)

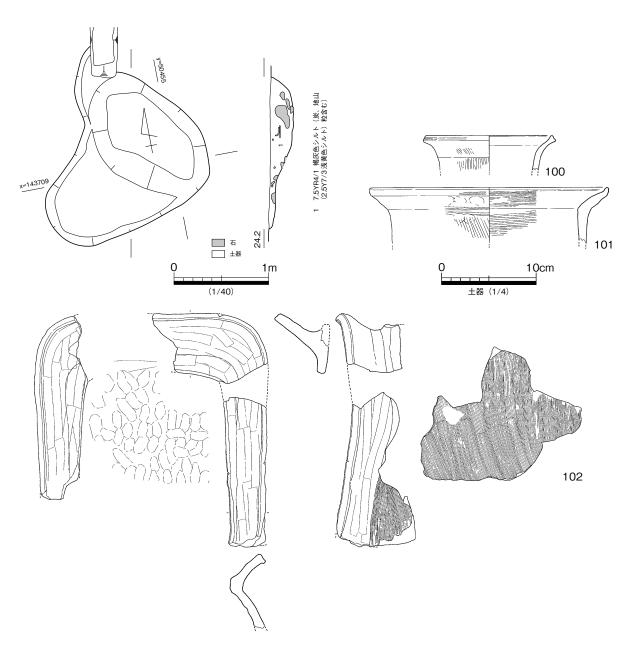
基盤層は礫を含む。埋土には人頭大以下の円礫及び土器を含む。土師器 $100\sim102$ が出土している。 奈良時代頃と考えられる。

SK14(B3)(第34図)

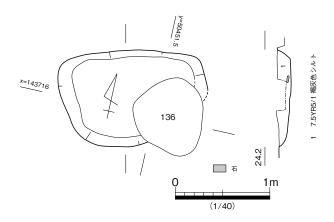
SH08より新しい。実測可能な遺物は出土していない。

SK20 (B2) (第35図)

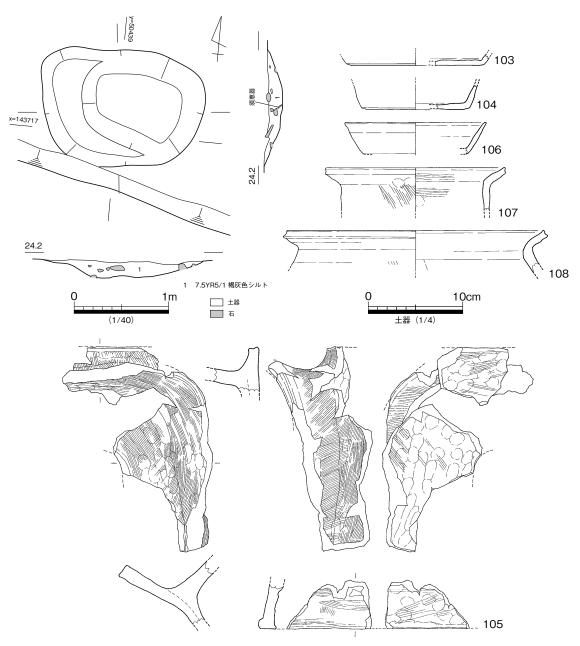
上面に人頭大以下の円礫の集積がある。礫群の中から須恵器 103·104 及び土師器 105 が出土している。 礫下の埋土からは須恵器 106 及び土師器 107·108 が出土している。奈良時代頃の時期が考えられる。



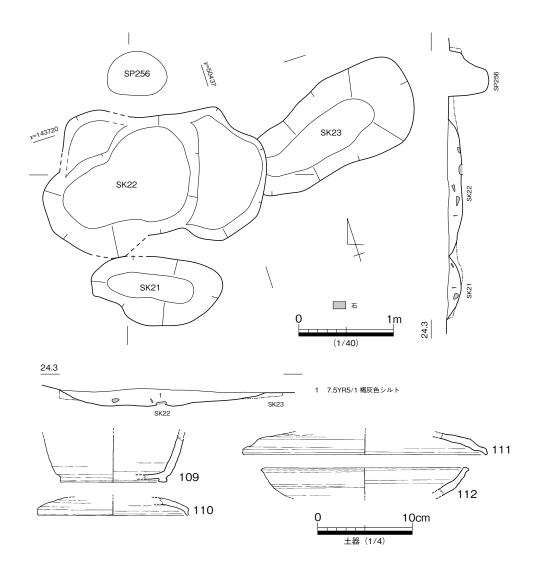
第33図 SK13平・断面図、出土遺物



第34図 SK14平・断面図



第35図 SK20平・断面図、出土遺物



第36図 SK21・22平・断面図、出土遺物

SK21·SK22 (B2) (第36図)

平面形がやや不定形の浅い土坑である。当初は、一つの遺構と考えられたが、掘り下げに従い、複数の遺構に分かれることが判明した。 SK22からは須恵器 109が出土している。須恵器 $110\sim112$ は、当初一つの遺構と考えていた時に出土した。

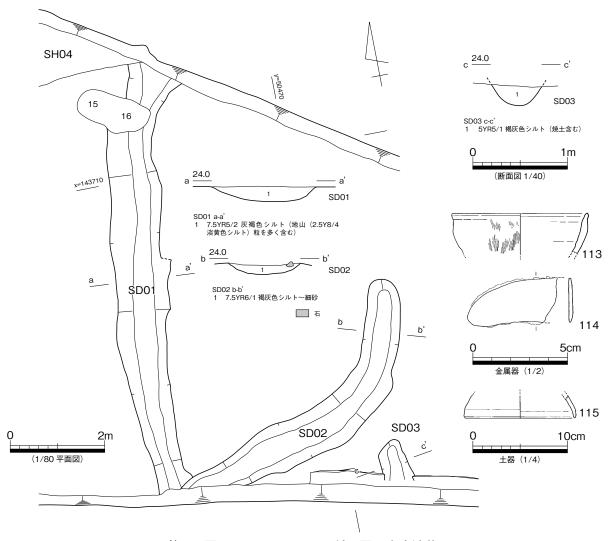
溝状遺構

SD01(B4)(第37図)

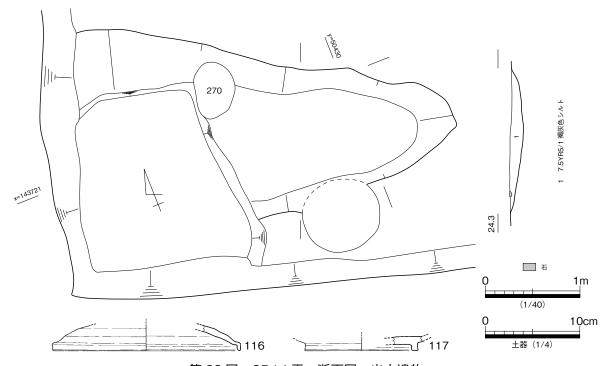
SH02、SH03、SD02より古い。埋土と基盤層の境界は不明瞭である。土師器 113 及び鉄 鎌 114 が出土している。

SD02(B4)(第37図)

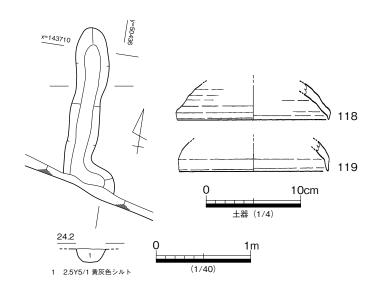
SD01、SH01、SH02より新しい。SH01及びSH02のような黒色シルトブロックは含んでいない。 須恵器 115 が出土している。 TK217 型式の時期が考えられる。

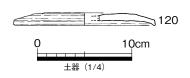


第37図 SD01~03平・断面図、出土遺物



第38図 SD14平・断面図、出土遺物





第39図 SD15平・断面図、出土遺物

第 40 図 SD17 出土遺物

SD14(A2)(第38図)

浅い不定形な遺構である。東西も長くはない。須恵器 116・117 が出土している。

SD15(B2)(第39図)

平面形がL字状を呈する溝である。須恵器 118・119 が出土している。

SD17(A1)(第40図)

南北方向のSD16から西へ派生する溝である。須恵器120が出土している。

SD19(A1)(第41図)

南北方向の溝である。西側のSD16と並行する。須恵器 121、土師器 122・123 が出土している。

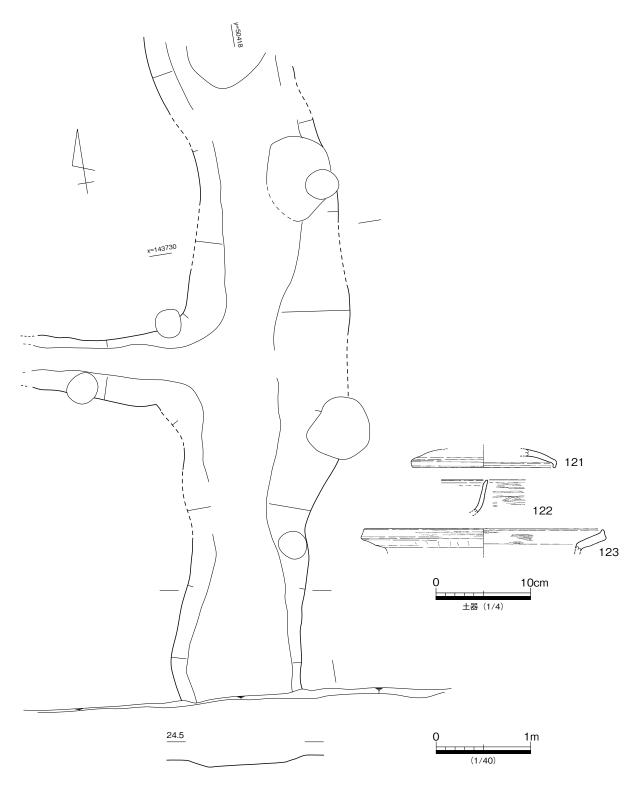
不明遺構

S X O 2 (B4) (第 42 図)

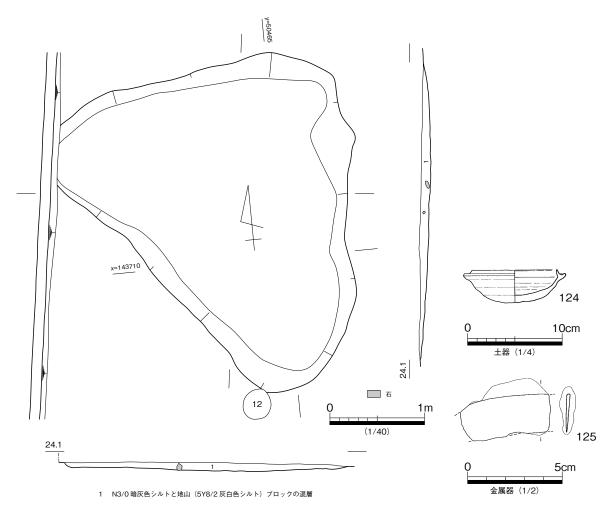
浅い不定形な遺構である。竪穴建物の残存したものの可能性もあるが、柱穴は検出できなかった。須 恵器 124 及び鉄鎌 125 が出土している。須恵器から TK217 型式の時期が考えられる。

SX05 (B5) (第43図)

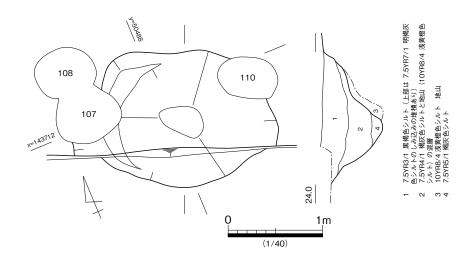
やや不定形な遺構である。下層の埋土は、基盤層に似る。実測可能な遺物は出土していない。埋土から当時期と考えられる。



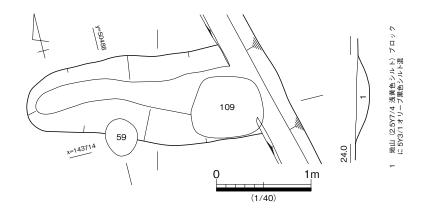
第41図 SD19平・断面図、出土遺物



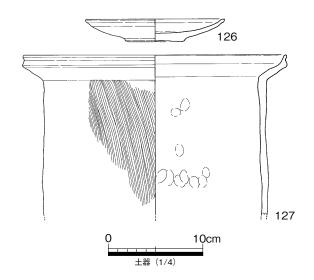
第 42 図 SX02 平・断面図、出土遺物



第 43 図 SX05 平・断面図



第 44 図 SX10 平・断面図



第 45 図 SP136 出土遺物

SX10(B5)(第44図)

浅い溝状の遺構である。埋土は基盤層に近い。実 測可能な遺物は出土していない、埋土から当時期と 考えられる。

2 平安時代土坑

SP136 (B3) (第45図)

SK14より新しい。直径80 cm、深さ15 cm 程度である。礫及び土器片が少量出土している。廃 棄土坑と考えられる。出土遺物は、126が軟質焼成 の緑釉陶器である。127 は土師器である。

井戸跡

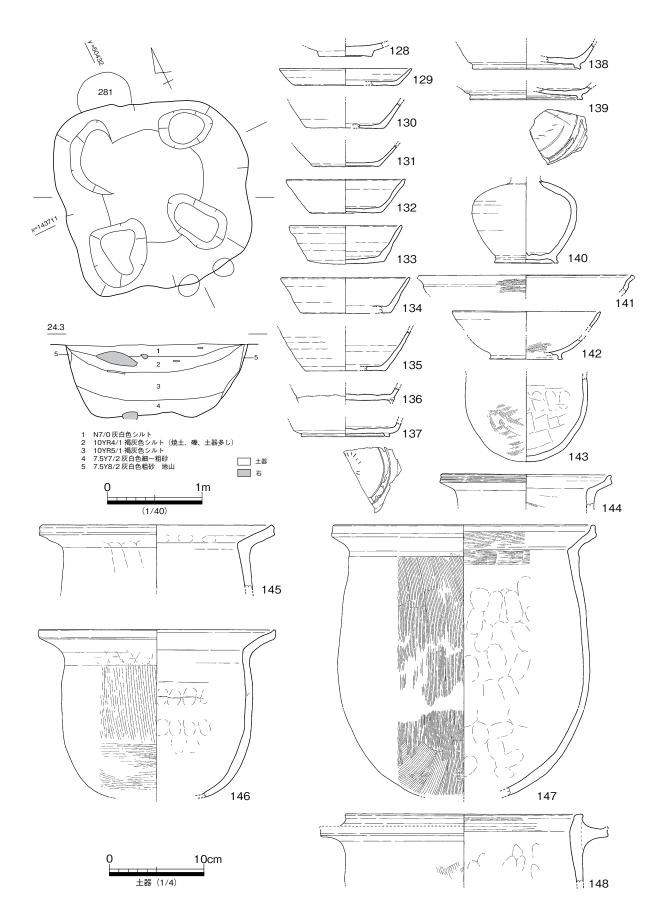
SK24 (B2) (第46図)

平面形がほぼ方形で、深さは 75 cm程度である。底面 4 隅に柱穴状の掘り込みがある。底は砂礫層に達している。以上のことから、4 隅に柱をもつ構造の井戸と考えられる。埋土上層からは焼土や礫が多量に出土しており、礫群は環状を呈している。128 は緑釉陶器である。129 \sim 140 は須恵器である。141 \sim 148 は土師器である。平安時代前半の時期と考えられる。

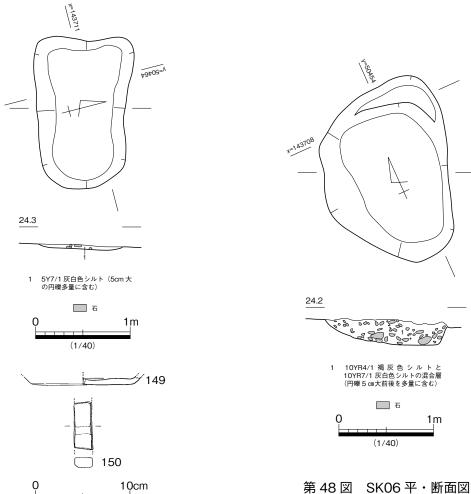
3 中世以降

SK01 (B4) (第47図)

7世紀代頃の遺物包含層を切り込む遺構である。須恵器 149・150 が出土しているが、埋土から中世 以降のものと考えられる。

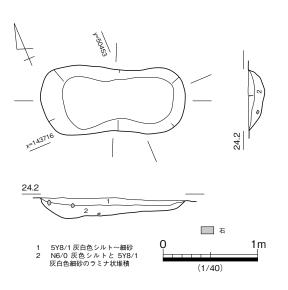


第 46 図 SK24 平・断面図、出土遺物



第47図 SK01 平・断面図、出土遺物

土器(1/4)



第 49 図 SK12 平·断面図

第 40 区 SNOO | 断面区

SK06 (B4) (第48図)

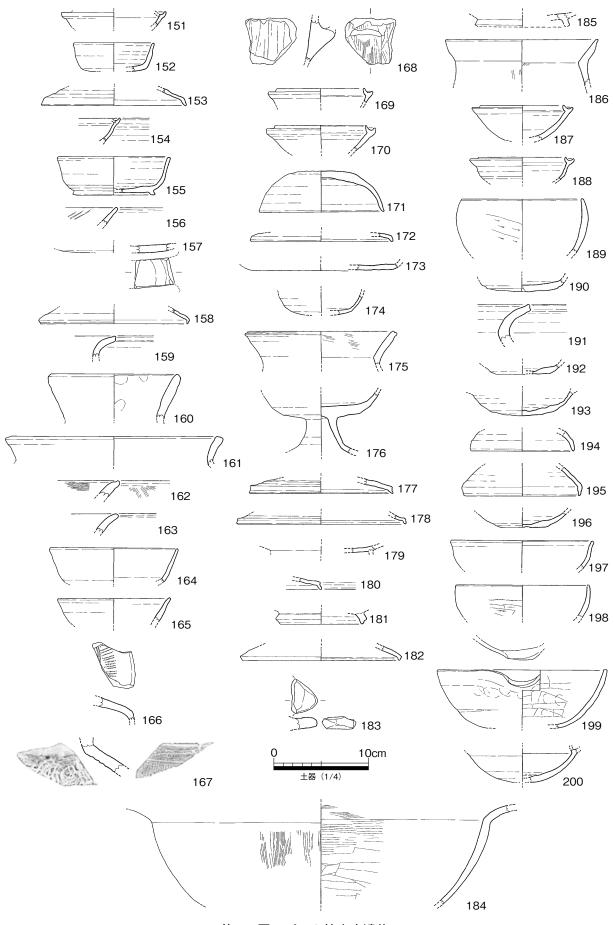
拳大の円礫を埋めた土坑である。摩滅した土師器・須恵器の小片が出土している。実測可能な遺物はない。

SK12(B3)(第49図)

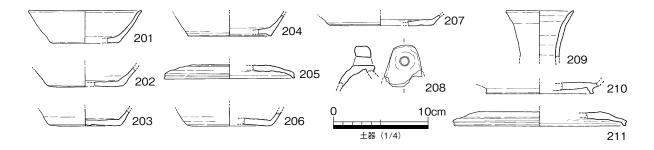
銅銭が出土している。近世以降の時期が考えられる。

4 ピット等出土遺物 (第50・51 図)

ピット及び小規模な土坑から出土した遺物をここでまとめて報告する、記載順は、調査区番号順、遺構番号順とする。出土位置、器種等は観察表を参照されたい。



第50図 ピット等出土遺物1



第51図 ピット等出土遺物2

5 包含層等出土遺物 (第52~54図)

表土、包含層、撹乱土から出土した遺物をここで報告する。

 $212 \sim 214$ は、1 区の表土及び撹乱土から出土した。 $212 \cdot 213$ は須恵器である。214 は土師器である。 $215 \sim 237$ は、1 区耕作土下の床土層から出土した。 $215 \sim 236$ は須恵器である。237 は灰釉陶器皿である。 $238 \sim 279$ は、1 区包含層から出土した。 $238 \sim 269$ は須恵器である。 $270 \sim 278$ は土師器である。279 は平瓦である。

 $280\sim287$ は、2 区の表土及び撹乱土から出土した。 $280\sim282$ は緑釉陶器である。283 は陶器甕である。 $284\sim287$ は須恵器である。284 は円面硯である。 $288\sim293$ は、2 区耕作土下の床土層から出土した。288 は中国産青磁である。289 は緑釉陶器である。 $290\cdot291$ は須恵器である。292 は平瓦である。293 はふいごの羽口である。 $294\sim309$ は、2 区包含層から出土した。 $294\cdot295$ は灰釉陶器に類似する。 $296\sim306$ は須恵器である。 $307\sim309$ は土師器である。

310~315は、3区包含層から出土した須恵器である。

 $316 \sim 318$ は、4 区から出土した。316 は包含層から出土した緑釉陶器椀である。317 は包含層から出土した黒色土器 A 類椀である。318 は遺構検出時に出土した不明遺物である。同心円状の切り込みを伴う剥離痕がある。

319~322 は、5 区から出土した。319 は表土直下から出土した須恵器である。320 は包含層から出土した緑釉陶器皿である。321 は遺構検出時に出土した緑釉陶器皿である。322 は遺構検出時に出土した平瓦である。

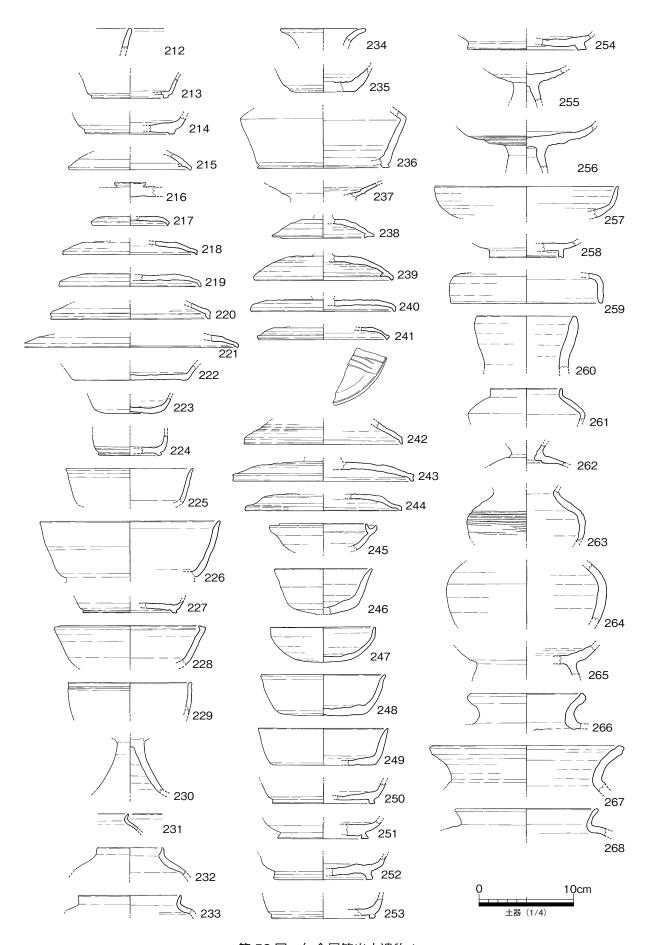
323・324は、6区の撹乱土及び調査区壁面から出土した緑釉陶器と平瓦である。

325は、7区の撹乱土から出土した緑釉陶器椀である。

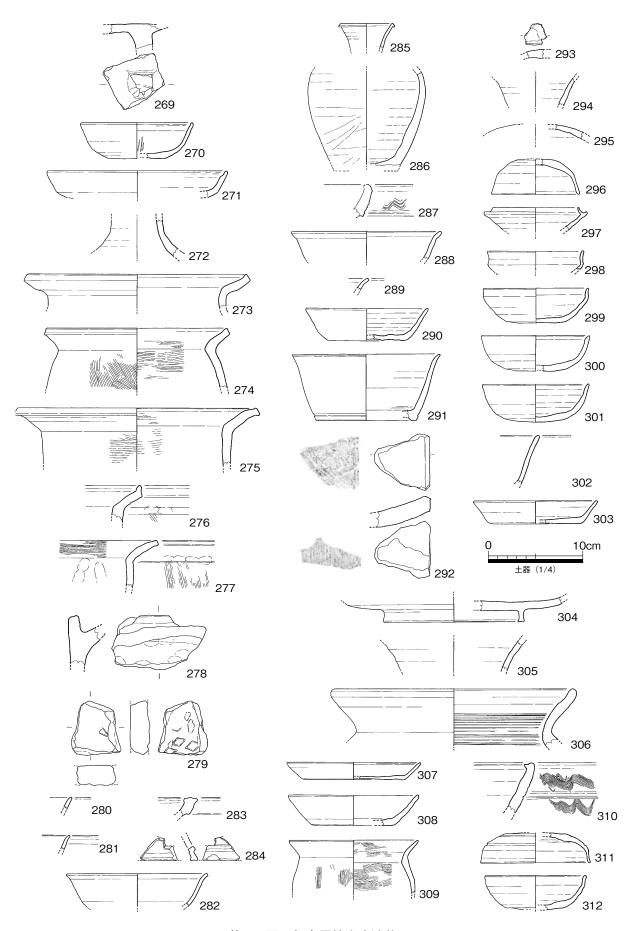
6 出土石器及び金属器(第55図)

7世紀から平安時代にかけての遺構とは関連のない石器及び金属器をまとめて報告する。

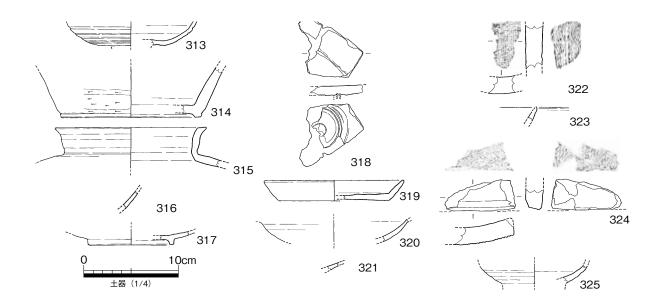
 $326 \sim 336$ はサヌカイト製の石鏃である。337 はサヌカイト製の石錐である。338 は砥石である。339 は銅地銀貼りの耳環である。



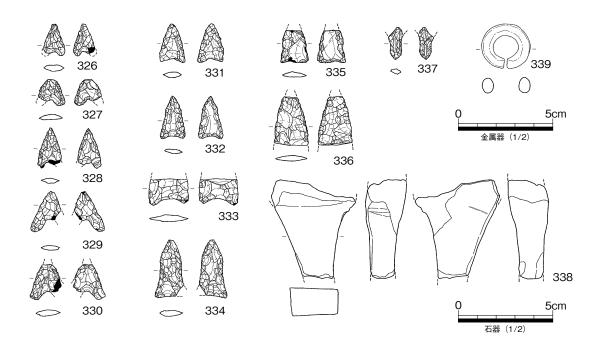
第52図 包含層等出土遺物1



第53図 包含層等出土遺物2



第54図 包含層等出土遺物3



第55図 出土石器及び金属器

第4章 まとめ

当遺跡で中心を占めるのは7世紀代の竪穴建物と奈良時代のものと考えられる掘立柱建物である。掘立柱建物のうち、SBO1からはTK217型式段階の遺物が出土しているが、竪穴建物より新しいことから、ほかの掘立柱建物と同様、奈良時代のものと考えられる。このうち、もっとも新しいと考えられるSBO3の主軸方位はN12°Eで、当遺跡近辺で見られる条里型方格地割の方向N11°Eに近い。また、SBO1もN10°Eでこれに近い。他の2棟は、N90°EとN5°Eと座標北に近い。この2群の建物が時期差を持つ可能性がある。高松平野中央部では、多肥北原遺跡の調査までは、7世紀から奈良時代の集落跡は見つかっていなかったが、多肥北原遺跡調査後、その西側にある多肥北原西遺跡、太田原高州遺跡という同じ県道予定地の調査でも同期の集落が確認され、さらに最近南西1.5km離れた仏生山町の萩前・一本木遺跡で同時期の集落跡が確認されてきており、高松平野中央部における当時期の集落の様相が明らかになりつつある。

平安時代の遺物は、小片ながら少なくない緑釉陶器の破片や灰釉陶器の破片が出土しているが、確実な平安時代の遺構は2基のみと少ない。一方、当遺跡南西200mの位置には、調査が行われておらず実態は明らかでないが、布目圧痕のある瓦が採集されたり、方形の土壇の記録が残るなど、古代寺院と考えられる多肥廃寺が推定されていた。平成22年度に調査を実施した多肥北原西遺跡は、多肥廃寺の北にほぼ隣接する遺跡で、調査の結果、平安時代後期の大量の須恵器・土師器のほかに平瓦、丸瓦、軒丸瓦が出土し、古代寺院の存在の可能性を高めたといえる。当遺跡の平安時代の遺物は、この多肥廃寺と関わりがあるものと考えられる。

第3表 土器観察表

4	₩.																														
ŧ	編																														
1	残仔举	1/8	1/8 未満	8/2	8/8	2/8	1/8	1/8 未満	1/8	1/8 未満	1/8 未満	1/8	1/8 未蒲	1/8	1/8 未満	1/8 未満	1/8 未満	3/8	1/8	1/8 未満	1/8 未満	2/8	1/8 未満	1/8 未満	1/8	3/8	1/8	1/8 未満	1/8 未満	1/8	1/8 未満
	内部	7.5Y5/1 灰	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/3 浅黄橙	7.5Y6/1 灰	7.5YR6/4 にぶい橙	7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	7.5Y8/1 灰白	5Y8/1 灰白	5YR6/6 橙	N7/ 灰白	10YR8/3 浅黄橙	2.5Y7/1 灰白	5Y8/1 灰白	N7/ 灰白	N6/ 灰	5Y8/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	2.5Y8/3 淡黄	5Y7/1 灰白	N6/ 压	10Y7/1 灰白	10YR8/4 浅黄橙	N7/ 灰白	N8/ 灰白	N7/ 灰白	2.5Y8/1 灰白	N7/ 灰白	N6/ 灰	N7/ 灰白
色調	外部	7.5Y8/1 灰白	10YR8/6 黄橙	10YR6/3 に ぶい黄橙	N7/ 灰白	7.5YR6/4 にぶい橙	N7/ 灰白	7.5Y5/3 灰 オリーブ	10Y4/1 灰	N7/ 灰白	5YR6/6 橙	N7/ 灰白		2.5Y6/1 黄灰	N5/ 压	N7/ 灰白	N5/ 灰	2.5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	2.5Y8/3 淡黄	7.5Y5/1 灰	N5/ №	N6/ 灰	2.5YR7/8 橙	N7/ 灰白	2.5Y7/1 灰白	N7/ 灰白	N8/ 灰白	N7/ 灰白	N6/ 灰	N7/ 灰白
	から (EI)																														
法量	京(CEI)				5.2				(6.4)															(11.0)			(3.0)				
災	框 (EB)			30:0	3.6																					3.5	3.4				
	四 []	(13.7)		20.4	6.6	(13.2)	(12.9)	(8.0)			(14.7)	(6.1)		(6.1)	(11.8)		(17.8)		(22.1)			(10.4)	(18.2)		(11.0)	(10.6)	(6.3)	(9.1)	(6.7)	(8.8)	(10.5)
	砂粒	維·少	- - -	⊕ %	細·少	番・今	選· 多	番・今	中.少	番・今	細·少	番・少	± .÷	細·少	董 ·	無・少	中 · 多	細·少	小一中	中・少	□	⊕ .÷	番・少	無·少	番・少	⊕ .÷	⊕	± •	番・多	細・多	番・今
	中部																														
胎士	2 角閃石																														
	- 赤色粒																														
	五 東 石 石																														
树	内面	回転行	3247°	口縁不明(マ パ) 体~底 指材x後げ	回転が、	口縁がメ 体行	回転行	回転行	不明 (マメツ)	同心円券	.44ce	回転行	か X後 ナデ	回転行	回転扩	回転行	回転行。	回転行	回転行	(パル) 単坐	回転行	回転扩	回転行	回転疗	回転行	回転が、	回転行	回転行	回転行。	回転行	回転行
調整	外面	回転げ゛	3747	口縁不明 (マメツ) 体 ~底がメ	口縁~体回転 げ、 底回転 パ判末調整	□縁ヨコナデ 体がメ	回転行	回転行	回転扩	平行タタキ	ョンナデ	回転扩	不明 (マメツ)	回転行	回転行	回転扩	回転行	回転行	回転行	99キ	回転行	口縁~体回 転げ、 天井 回転ヘラケズリ	回転扩	回転行	回転行	口縁~体回転 ゲ 底回転 が判末調整	口緣~体回転 疗 底疗	回転行	回転行	回転行	回転行
1	华	杯蓋	鯸	影	柝	影	杯蓋	丼	高杯	粼	≡	林	鯅	杯	林	杯	杯	高杯	灩		旧	杯蓋	毈	Ħ	杯蓋	林	丼	茶	丼	杯	林
# H	種類	須恵器	上前器	上師器	須惠器	上部器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	上師器	須恵器	上部器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	製塩土器	須恵器	須恵器	須恵器	上前器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器
1	型型																														
1 # #	画角	SH01 (東) P8	SH01 西半	SH01 P3	SH02 (南東) P9	SH02 (北東) P10	SH03 B (南東)	SH03 C (南西)	SH03 北西	SH03 C (南西) P4	SH03 C (南西)	SH04 (西)	SH04 (西)	SH06 東半	SH06 カマド・煙 道部分 西半	SH06 東半	SH06 東半	SH06 カマド袖	SH06 東半 床面	SH06 西半 床面	SH07 北西	SH08 北西 床面	SH08 南西	SH08 北東部	SH09 北西 床面	SH09 南東 床面	SH09 北東	SH09 北東 畦	SH09 北東	SH09 南東	SH09 北西 1 免トレンチ
聖	M	3 🗵 S	8 X	3 × S	3 🗵 S	3 × S	3 🗵 S	8 X	3 × S	3 🗵 S		3 🖂	8 X	1 🗵 S	1 区 区	1 X	1 🗵 S	1 🗵 S	$1 \times S $	1 🗵 S	4 X	5 X	5 X	4 ⊠ S	2 🗵 S	2 🗵 S	2 X	2 X	2 🗵 S	2 🗵 S	2 X
_	海 (中	1	2	ო	4	D.	9	2	8	6	10	=	12	13	14	15	16	17	18	19	8	21	22	23	24	25	92	27		59	98

1	編 を																														
	====																														
1	残存率	1/8	1/8 未満	2/8	1/8	1/8	1/8	1/8 未満	1/8 未満	1/8 未満	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	3/8	1/8 未満	1/8	1/8 未満	1/8 未満	1/8	2/8	2/8	1/8 未満	1/8	1/8 未満	1/8 未満	1/8 未満	1/8 未満	1/8	
順	内部	2.5Y6/1 黄灰	N6/ ⅓	N7/ 灰白	10YR8/8 黄橙	5YR6/8 橙	10YR8/4 浅黄橙	10YR8/3 浅黄橙	N6/ ⅓	7.5Y5/1 灰	N7/ 灰白	2.5YR7/6 橙	N7/ 灰白	N6/ 灰	7.5Y7/1 灰白	N6/ 灰	N5/ 灰	7.5Y7/1 灰白	5YR5/6 明 赤褐	5YR6/6 橙	5YR7/6 橙	7.5YR7/8 黄橙	10YR8/3 浅黄橙	5Y7/1 灰白	2.5Y8/2 灰白	5Y7/1 灰白	7.5YR7/4 にぶい橙	2.5Y7/1 灰白	5Y7/1 灰白	N5/ 灰	
色調	外部	2.5Y6/2 灰黄	N6∕ F	N7/ 灰白	2.5Y8/3 淡黄	5YR6/8 橙	10YR8/4 浅黄橙	10YR7/3 に ぶい黄橙	N6/ 压	7.5Y5/1 灰	N7/ 灰白	5YR7/6 橙	N7/ 灰白	N6/ 灰	7.5Y7/1 灰自	N5/ 灰	5Y5/1 灰	7.5Y7/1 灰白	7.5YR6/4 にぶい橙	5YR6/6 橙	5YR7/8 橙	7.5YR7/6 橙	10YR8/3 浅黄橙	7.5Y7/1 灰白	2.5Y8/2 灰白	1	10YR8/3 浅黄橙	N7/ 灰白	5Y7/1 灰白	N6/ 压	
	その他 (cm)																														
法量	底径 (cm)															(5.6)	(9.6)	(10.8)												(6.4)	
沒	器量(CII)																														
	口径 (cm)	(7.0)	4	(8.8)	(15.0)	(20.4)	(21.0)	(26.0)	(11.8)	4	(6.3)	(0.7)	(10.1)	(11.9)	(13.8)		w	747	ک	(15.5)	(9.9)	(8.0)	(22.1)	(11.2)	(14.1)	ک	۵.	الالالالال	(14.0)	A	
	ま 砂粒	中.少	無· 今	番・今	+ **	⊕ ₩	⊕ •	⊕ •	東· 今	番・少	盤・少	中・多	無·今	粗·少	a.多		番 ・	粗·多	± 	番 少	- - - -	無·少	⊕	番・今	無·少	無・少	中· 少·	番・今	番・多	番 ・	l
+1	1年 建母																														-
胎土	赤色粒 角閃石																														ŀ
	石英· 長石 赤																														ŀ
政	内面	回転扩	杯 扩,脚 回転 扩	回転行	口縁 <i>かメ</i> 体 不明(マメツ)	1が X後 ナデ	114.4	不明 (マメッ)	回転拧"	不明 (マメツ)	回転げ	不明(マメツ)	回転行	回転行	回転扩	回転行	回転疔"	回転扩	3247.	コンナデ後 ハラミガェキ	3047°	不明 (マメッ)	□縁がメ 体行	回転行	不明(マメツ)	回転行	板扦	回転行	回転行	回転抄゛	
調整	単物	回転扩	回転扩	回転行	□縁ヨコナデ 体ハタメ	指排工後扩		(447) 田坐	回転扩	不明(付着物)	回転が	(1/4)		,		回転げ、 ^ 注リ未調整		回転扩	3017	口縁却持゛	3017	不明 (マメツ)	□縁ヨコナデ 体ハケメ	回転行	不明(マメツ)	回転行。	3047°	回転扩	回転行	体回転行 底回転へ 注1)未調整	
,	器種	杯	高杯	高杯	邂	鯸	槲	巖	杯	杯蓋	杯	壺	杯蓋	杯蓋	杯	杯身	高杯	高杯	Ħ	Ш	個	邂	黑	林	杯	高杯	杯	杯	杯	林	
the state of	重 類	須恵器	須恵器	須恵器	上師器	上部器	上前器	上師器	須恵器	須恵器	須恵器	上師器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	上師器	上前器	上町器	上師器	上師器	須恵器	須恵器	須恵器	上師器	須恵器	須恵器	須恵器	
:	層位																														\mid
1	遺構名	北西	北西	南西	北東 畦	南東	南東	南西	SH10 中央北半 南北トレンチ	北西	煙道・焼土	カマド	SD08 (SH11 北西壁溝)	北西	西半	SH11 北東 L 字トレンチ	SH11 北東 L 字トレンチ	北東	SH11 西半 (SH11·13 境界東西畦)	北東	SH11 東半 床面掘り下げ	中型	北東		北東	南西	SH12 南東 L 字トレンチ	SH13 南東 (試掘 トレンチ内畦部分)	SH13 北西 L 字トレンチ	北東	47年十七日
		8H09	60HS	SH09	60HS	8H09	60HS	60HS		SH10	SH11	SH11		SH11				SH11		SH11			SH11	SH12	SH12						01110
_		2	2 🗵	2 X	2 K	2	2 🗵	2 🗵	2 ×	2 🗵	2 K	2 K		3 2 K	2 ×	2 X	2 ×	2 K	2 	2 🗵	2 🗵	2 🗵	2 🗵	2 ×	1 2 K	2 K	2 🗵	2 🗵	2 X	2 🗵	
器	作	31	32	33	34	35	98	37	88	33	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	20	51	52	53	54	22	99	57	28	29	

卆鋒	_	7 117		1	鱛	調整		胎土	+1			法量		1	色調	1	1
(本 (中		遺構名	層位 種類	器種	外面	内面	石英・ 長石	赤色粒 角閃石] (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	砂粒	口径 [cm)	器高 底 (cm) (cr	底径 その他 (cm) (cm)	1 外部	内部	残存率	編考
61	2 🗵	SH13 北西 L字トレンチ	須恵器	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	回転扩	回転行				番・今		8)	(8.8)	N6/)死	N6/ 压	1/8	
62	2 🗵	SH13 東半 (試掘ト レンチの北の SH13 ~ 15の通し畦)	出	Ħ	不明 (マグ)	不明 (マメツ)				⊕	(15.0)			7.5YR7/6 橙	7.5YR7/6 橙	1/8	
63	2 🗵	SH14 床面掘り下げ	須恵器	杯蓋	体回転行。 底回転ヘラクズリ	回転行				±	(10.1)			N7/ 灰白	N7/ 灰白	1/8	
64	2 K	SH14 P17	工 即器	影	口縁3つ行。 体がメ	口緣がX後却 片、 体上半 板片、後片、 下半指が				+ **	(24.2)			7.5YR6/4 にぶい橙	7.5YR3/3 暗褐	3/8	内外炭化物付着
92	2 🗵	SH14 試細ト レンチより北	十二年	ෂ	口縁ョコナデ 体パメ	□縁がメ 体行				· 中	(13.7)			5YR6/6 橙	5YR6/6 橙	1/8 未満	
99	2 🗵	SH14 南半 (試掘ト レンチ内とその南)	須恵器		回転行	回転行				番 多	(11.2)			N7/ 灰白	N7/ 灰白	1/8 未満	
29	2 🗵	SH14 南半 (試掘ト レンチ内とその南)	須恵器	林	回転扩	回転行				番 · 今	(11.6)			7.5Y6/5 压	7.5Y6/5 压	1/8	
89	2 🗵	SH14 試細ト レンチより北	須恵器	杯	回転行	回転行				番・今	(8.6)			N6/ 灰	N6/ 压	1/8 未満	
69	2 🗵	SH14 切り合い畦	須恵器	林	体回転行 底回転へ 注リ未調整	回転扩				中 少		(5)	(5.0)	N7/	N7/	3/8	
20	2 🗵	SH15 試掘トレ ンチより南と試 掘トレンチ内畦	須恵器	杯蓋	回転扩	回転扩				量· 今	(11.2)			N6/ 压	N6/ 压	1/8 未満	
71	$2 \mathbb{K}$	SH15 北半 床面	須恵器	杯蓋	回転扩	回転扩				番・少	(13.3)			2.5Y8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	1/8	
72	2 🗵	SX11 西半 (試掘 トレンチより北)	須恵器	— 杯蓋	回転が、	回転行				· 第	(10.9)			N6/ 灰	N6/ 压	1/8 未満	
73	2 K	SX11 南半 (試掘 トレンチ内中央)	須恵器	林	体回転行 底回転へ 注リ後ナデ	回転行				⊕ 		(7	(7.0)	N7/ 灰白	N5/ 灰	1/8	
74	2	SX11 東部 (試掘 トレンチより北)	須恵器	高杯	回転行	回転行				· 第				7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	1/8 未謝	
75	7 🗵	SX16 南(畦部分)	須恵器	杫	回転行	回転行				無·今	(8.3)			N8/ 灰白	N7/ 灰白	1/8	
9/	7 🗵	SX16 南東	須恵器	杯	口縁~体回転 ゲ、 底回転 ヘラキリ未調整	回転が、				⊕ ₩	(11.4)	(5)	(5.7)	N5/ 灰	N6/ 灰	2/8	
22	7 🗵	SX16 南西	上師器	栣	不明(マメツ)	Ħ,				中 · 少	(12.0)			2.5YR6/8 橙	5Y7/8 橙	1/8 未満	
28/	7 🗵	SX16 南西 P20	上師器	杯	ヘラケス"リ後 ヘラミカ"キ	口縁むゲ. 以下ゲ.				蓋 ·	(15.4)	5.1		7.5YR7/6 橙	7.5YR7/6 橙	8/2	
8		立会トレンチ SH01 壁溝	須恵器	林	口縁~体回転 ゲ、 底回転 バギリ未調整	回転が、				番 · 今	0.6	3.5	5.6	2.5Y6/3 に ぶい黄	N8/ 灰白	8/8	
81	3 🗵	(幸嵐) 9IdS	須恵器	林	体回転行 底回転へ 注1天調整	回転扩				選·多		2	5.9	5Y8/1 灰白	2.5Y8/2 灰白	8/8	
85	$1 \mathbb{K}$		須恵器	杯	回転圩	回転圩				盤·少				5Y6/1 灰	5Y6/1 灰	1/8 未満	
83		SP30	上師器	≡	拧 *	 持'				番・今				2.5YR6/6 橙	5YR6/8 橙	1/8 未満	
8	- 1	SP30	須恵器	杯	回転行	回転行				番 ・今	(14.0)			5Y6/1 灰	5Y5/1 灰	1/8 未蒲	
82	1区		須恵器	高杯	回転行	回転行		-		番・今		(6.5)	(2)	2.5Y8/2 灰白	2.5Y1/8 灰白	1/8	

1 1	電光																													
1	残存率	2/8	1/8	1/8 未満	1/8	3/8	1/8 未謝	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8 未満	1/8 未満	1/8	1/8	1/8 未満	8/8	1/8	1/8 未満	8/8	1/8 未満	1/8 米瑞	1/8 米謝	1/8	1/8 未満	1/8	1/8	1/8 未満	1/8
	内部	10YR8/3 浅黄橙	N6/ 压	5Y8/2灰白	10YR5/3 に ぶい黄褐	5Y7/1 灰白	N6/ 灰	7.5YR7/6 橙	2.5Y8/2 灰白	5Y6/ 1 灰	N5/ 灰	2.5Y7/2 灰黄	7.5Y6/1 灰	7.5Y7/1 灰白	N5/ 灰	7.5YR6/4 にぶい橙	5YR6/6 橙	7.5YR4/3 褐	7.5YR7/4 にぶい楢	2.5Y6/2 灰黄	5YR5/4 に ぶい赤褐	2.5Y6/1 黄灰	5YR5/4 に ぶい赤褐	10YR8/6 黄橙	N6/ 灰	5Y7/1 灰白	10YR7/4 に ぶい黄橙	5Y6/1 胚	7.5YR7/4 にぶい橙	N7/ 灰白
色調	外部	10YR8/3 浅黄橙	N4/1 15 N	N7/ 灰白 5	7.5YR5/4 1	N7/ 灰白 5	N5/ 灰 N	7.5YR7/6 橙 7	2.5Y8/2 灰白 2	5Y6/1灰 5	N5/ 灰 N	2.5Y7/2 灰黄 2	10Y7/1 灰白 7	7.5Y7/1 灰白 7	N5/ 医 N	7.5YR6/4 7	7.5YR7/4 にぶい橙	5YR5/6 明 赤褐	10YR8/3 浅黄橙	2.5Y7/2 灰黄 2	7.5YR6/4 にぶい楢	10YR7/3 に ぶい黄橙	5YR5/4 に ぶい赤褐	10YR8/4 浅黄橙	2.5Y6/1 黄灰 N	5Y7/1 灰白 5	10YR6/3 に ぶい黄橙	5Y7/1 灰白 5	7.5YR7/4 にぶい橙	N7/形
	その色 (cm)	1%			2		4	7	2	5	4	2	1	7	N	7	~ ~	ωw.	1/2	2	~ ~	~ <u>-</u>	ഗ~	1/2	2	5	<u> </u>	. rv	2-3	
	底径 (cm)		(8.7)			(6.4)			(16.0)	(0.9)	(8.6)	(6.5)							(14.6)	(11.4)					(11.2)					
法量	(ux) 単器									5.0																				
	口径 (cm)	(15.5)		(14.2)	(14.6)		(17.7)			(6.6)			_	(7.3)	(9.4)	(14.0)	(24.9)					(15.0)	(18.9)	(27.1)		15.7	(25.7)	(21.2)	(14.3)	(117)
	砂粒	± -	無·少	番· 多	% · ⊕	⊕ %	日.今	額·少	中・多	雏·少	日.今	⊕ •	番・少	番・分	中·少	中・多	猫 砂	⊕ %	番・今	⊕ .÷	番・参	⊕ .÷	⊕ %	⊕ %⁄	番・少	中.少	蓝 · 必	番 · 夕	⊕ · ⊕	雑・小
	音 華 日																													
胎土	赤色粒 角閃石																													
	石英· 赤色/ 長石 赤色/																													
次 司	内面	不明 (マッツ)	回転行	不明 (マメツ)	artř.	回転げず	回転行	不明(付着物)	回転げ	回転行	回転行	回転行	回転行	回転行	回転げ	3747.	N7.X	指标	回転拧"	回転抄。	指护	回転拧゛	□縁ハケメ後ヨコ トデ 体ハケメ	口縁む疔゛ 体疔゛	回転行	回転げ゛	回車云ナデ	回転が	口綠却拧゛	" 华 埠 旦
調整	外面	不明 (マメッ)	<i>ヘラケズリ</i> 状 回転が	不明 (マメツ)	37408	回転行。	回転行。	不明(付着物)	回転行。		回転行。				回転	□縁かメ後ヨコ トデ 体ハケメ :	口縁かメ原体ョ ゴデ 体がメ	板护、冰水	不明 (マメツ)	体回転行 底回転へ 注1天調整	NYX	回転行。	□縁町疔゛ 体ルメ	□縁即行。 体がメ		回転げ。	口緣回転行, 天井回転 冷判未調整		□縁ヨコナデ 体ハクメ	世十七。
ì	報	林	杯	林	澭	杯	高台付杯	Ш	高台付杯	高台付杯	高杯	茶	杯蓋		杯	蹇	粼	銏	Ħ	茶	細	林	影	影	闿	杯蓋	杯	淋	禁	松幸
!	種類	上師器	須恵器	須恵器	上師器	須恵器	須恵器	上師器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	上師器	上師器	上師器	須恵器	須恵器	上師器	須恵器	上師器	上師器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	上師器	佐市野
i	層位																													
1 1	遺構名	計	非	非	未单		南半 (西)	車半	1 南東部	3 東半	6	2			8 南東 (B)	3 東半	3 東半	3 東半	(乗の中	繰の中	(乗の中	1北東) 南西) 南西	2 南西	5 東部	5 中央南	SX15 北西部 L字トレンチ	SD01 南半 (断 面Pより南)	SD02 南西部 (B
		SP30	SP34	SP34	SP34	SP40	SP60	SP65	SP151		SP159	SP325	SK03	SK03	SK03	SK13	SK13	SK13	SK20	SK20	SK20	SK20	SK20	SK20	SK22	SX15	SX15			
-		1 🗵	1 🗵	1 🗵	1 🗵	1	<u>1</u>	1	4 K	4 🗵	4 X	⊠ 9	⊗ ⊠	3	3 🗵) 4 K	1 X	2 4 X	5 X	₩ ₩	5 5	5	7 5 X	S 57	9 5 ⊠) 5 K		ις Σ	3 8	2
李器	作	98	<i>L</i> 8	88	68	06	91	92	93	94	92	96	97	86	66	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	115

:	無																						
	残存率	1/8 未満	1/8 未満	1/8	1/8 未満	2/8	1/8	1/8 米謝	1/8 米離	4/8	3/8	1/8	8/9	8/2	8/2	4/8	3/8	8/2	1/8	1/8 未識	2/8	8/2	
	内部	N6/ 灰	5Y8/1 灰白	5Y7/1 灰白	2.5Y8/1 灰白	5Y8/1 灰白	10YR6/1 灰	2.5YR5/6 明赤褐	7.5YR6/4 にぶい橙	N6/ 压	10Y6/2 # リーブ 灰	10YR7/4 に ぶい黄橙	10YR8/2 灰白	2.5YR6/6 橙	2.5Y8/1 灰白	10YR7/6 明黄褐	7.5Y5/1 压	7.5Y7/1 灰白	2.5Y7/2 灰黄	5Y6/1 压	5Y7/1 灰白	N6/ 压	
色調	外部	N6/ 压	5Y8/1 灰白	5Y7/1 灰白	2.5Y7/2 灰黄	5Y8/1 灰白	N5/ ⅓	2.5YR5/8 明赤褐	5YR5/4 に ぶい赤褐	N6/ 压	10Y6/2 # リーブ 灰	10YR7/4 に ぶい黄橙	10YR8/2 灰白	2.5YR6/6 橙	2.5Y8/1 灰白	2.5Y7/6 明 黄褐	7.5Y6/1 压	7.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	5Y6/1)承	5Y6/1)巫	N4/ 灰	
	その後 (cm)	_																					
法量	底径 (cm)		(11.8)							4.5	(6.3)		5.7	(11.0)	(8.0)	7.1	(9.7)	8.1	(9.4)	(8.4)		(9.4)	
洪	福(三)									3.4	2.4			1.7			3.5	4.0	3.8				
	(CEI)	\sim		(16.0)	(15.8)	(14.8)	(15.0)		(25.2)	(0.6)	(14.8)	(27.6)		(13.7)			(12.4)	11.8	(13.7)				
	砂粒	中.少	番・多	盤· 少	細·少	番・少	番 少	番・今	⊕ <i>₩</i>	中 ·	± .÷	蓋 · ※	⊕ •	番 今	⊕ 	± ₩	番 · ※	誰 多	番・多	⊕ 	⊕ 	中 ·	
胎士	赤色粒 角閃石 雲母																						
	石英· 長石																						
調整	内面	回転行	回転行。	回転げ	回転げ	回転行	回転行	3047°	ルケメ後ョコナデ	回転行	綠釉	口緣31. 体上半不明 (付着物) 下半指排1	不明(マメツ)	回転行	回転行	不明 (マメツ)	回転行	回転行	回転扩	回転行	体~底外回転 疗 底内疗	体~底外回転 疗、底内疗	
鰮	外面	回転行	回転扩	回転扩	回転扩	口縁回転† デ 天井 回転ヘラキリ	回転扩	ヘラミカ゛キ	口縁端 <i>かメ</i> 原体3D.行。 以下指オ れ後3D.行。	口縁~体回転 ゲ 成回転 が判末調整	綠釉	口縁ョンザ: 体パメ	不明(マメツ)	口縁~体回転 ゲ 底回転 が判末調整	体回転行, 底回転へ 注1末調整	不明 (マメツ)	口縁~体回転 ゲ、 底回転 バ対末調整	体回転行	体回転行; 底未調整	体回転行, 底回転へ 注1後行,	体~底外回転 方 底内回 転べ判末調整	体~高台 回転行 底未調整	計画を
ļ	器種	杯蓋	高台付杯	杯蓋	杯蓋	杯蓋	杯蓋	目	捌	本	Ħ	黑	Ħ	目	茶	茶	斧	本	林	斧	高台付杯	高台付杯	
1	種類	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	上言器	中	須恵器	綠釉陶器	上邮器	綠釉陶器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	
:	層位												2層						1層			2 層	
1	遺構名	1 東半	1 畦より東		4		SD19(ドーナッ状 撹乱の中央部)	SD19(SD17 との 合流部より北)	SD19 南半	2 P1	未単 9:	9	1 畦 (東)	北西		SK24	南東	1 北東	1 畦(東)	SK24	SK24	1 唯(東)	
1/4		₹ SD14	₹ SD14	₹ SD15	∑ SX17	SD17				SX02	₹ SP136	ξ SP136	₹ SK24	SK24	SK24	北西	SK24	₹ SK24	SK24	北西	北西	SK24	
\vdash	/ 	9 5 K	7 5 K	8 7 X	9 7 K	図9 0	1 6区	2 6 K	3 6 🗵	4 X	6 4 K	7 4 K	8 7 K	M L 6	0 7 🗵	1 7 K	2 7 K	3 7 K	4 7 K	5 7 K	× 2 9	7 7 🗵	
一台举	*************************************	116	117	118	119	120	121	122	123	124	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	

1	三 かん																										
1	残 年 ※	2/8	1/8	1/8	1/8 未満	2/8	1/8 米謝	1/8	3/8	1/8 未満	1/8	1/8	1/8 未謝	1/8	1/8 未満	1/8 未謝	2/8	2/8	2/8	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	2/8	1/8	
-	—— 漢	,	1	ı,	1/8	2,	1/8	ı,	3,	1/8	1,)	1/8	1	1/8	1/8	2,	2,	, Z	1	l,	1,)	ľ	2,	1,	
色調	内部	N6/ 压	5PB5/1 青灰	N6/ 灰	N6/ 灰	N7/ 灰白	N5/ 灰	7.5Y6/1 灰	5Y8/1 台	N6/ 灰	N7/ 灰白	N4/ 灰	N6/ 压	5Y7/1 灰白	N5/ 灰	7.5Y7/2 灰白	5Y6/1 灰	N7/ 灰白	2.5Y8/1 灰白	10Y5/1 灰	5Y6/1 灰	7.5Y7/1	2.5Y8/2 灰白	7.5Y7/1 灰白	N7/ 灰白	2.5Y8/2 灰白	
色	外部	5Y6/1 展	N5/)死	N4/ 灰	N5/ 灰	N7/ 灰白	7.5Y6/1 灰	N4/ 灰	5Y8/1 台	N6/ 灰	N7/ 灰白	N4/ 灰	7.5GY3/1 暗緑灰	N6/ 灰	N4/ 灰	2.5Y8/1 灰白	5Y6/1 胚	5Y6/1 灰	2.5Y8/1 灰白	N6/ 压	2.5Y6/1 黄灰	7.5Y7/1 灰白	2.5Y8/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	N7/ 灰白	2.5Y8/1 灰白	
	から (EII)																										
	原径 (cm)	(2.5)	(9.9)			(8.6)								(7.0)	(14.0)										(7.5)	(0.0)	
法量	能 (EB)																									3.6	
	U (E)			(13.4)	(19.2)		(16.0)	(12.8)			(2.9)	(10.8)	(0.6)				(8.8)	(14.4)	(15.0)	(13.4)	(16.6)	(19:0)	(16.5)	(6.2)	(10.2)	(10.9)	
	多替	+ - - -	⊕	番・今	中・小	無·今	無·少	番・今	華· 多	盤·今	中・小	番·今	± •	÷.	中 ·	番 · 今	董 · 夕	無·少	番 · 少	番	小.中	番 少	♦	番・今	番 · 令	董 · 参	
	母網																										
胎土	角閃石																										
	赤色粒																										
	石 東石 近石				Ц																						
整	内面	" 计轴回	回転行	回転行	回転行	,斗꿬回	回転行	回転扩	不明 (マメツ)	回転が	回転行	回転行	自然釉) 不明(自然釉)	回転行	回転行	上半灰釉 下半無釉	回転抒゛	回転行	回転扩	口縁回転 <i>抃</i> 天井杼	回転行	回転行	回転行"	回転行。	回転抒゛	回転拧	
調整	外面	体回転行" 底未調整	体回転行 底回転へ みズリ後高 台回転行	回転行	回転扩	体~高台回転 持、底げ	回転行		不明 (マメツ)	回転扩	٠	回転行	不明(自然釉)	<i>†</i> ,	回転扩	無細	口縁回転行。 天井回転 パラケス、リ		口縁回転行, 天井回転 イラキ判後行,	回転扩	回転扩	口縁回転行。 天井回転づ 判後回転行	口縁回転行, 天井回転 ハラキリ未調整	回転行	体回転行 底回転へ 注1)未調整	口縁~体回転 デ 底回転 が判末調整	口縁~休回転
4	型	林	高台付杯	林	高台付杯	高台付杯		客	高杯		車		ተ		翖	Ħ	杯	杯蓋	杯蓋	杯蓋	杯蓋	杯蓋	杯蓋	斧	茶	本	
ţ	種類	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	灰釉陶器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	
1	温灯																当 (3)										
1 1	阿爾公																遺構検出(北西部)										
		床土層	床上層	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	遺構検は	包含層	包含層	包含層	包含層	包含層	包含層	包含層	包含層	包含層	
票	M	1 🗵	N	<u> </u>	1	1 🗵	<u> </u>	<u> </u>	1 🗵			<u> </u>	1	<u> </u>	<u> </u>	1 🗵	ixi	1 🗵	1 🗵	N	1	1 🗵			IXI IXI	N N	
4 #	無行	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	

残存率 備考	2/8		1/8	1/8	2/8	1/8 2/8 2/8 1/8	2/8 2/8 1/8 1/8	2/8 2/8 1/8 1/8 4/8	2/8 2/8 1/8 1/8 8/8	2/8 2/8 2/8 1/8 4/8 8/8	178 278 278 178 178 878 378	1/8 2/8 2/8 1/8 4/8 8/8 1/8 1/8 ************************************	2/8 2/8 1/8 1/8 8/8 1/8 1/8 1/8 1/8	1/8 2/8 2/8 1/8 4/8 8/8 1/8 未謝 1/8 未謝	17.8 27.8 17.8 17.8 8/8 17.8 17.8 37.8 37.8 37.8 37.8 37.8 37.8	2/8 2/8 1/8 8/8 8/8 8/8 8/8 1/8 1/8 1/8	17.8 27.8 17.8 87.8 87.8 17.8 87.8 17.8 17.8 1	17.8 27.8 27.8 17.8 47.8 87.8 87.8 8.8 未謝 17.8 17.8 17.8	178 278 278 178 878 878 878 878 178 178 178 178 1	178 278	2/8 2/8 1/8 8/8 8/8 3/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1	1/8	1.8 1.8	2/8 2/8 1/8 1/8 1/8 3/8 8/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1	17.8 2.8 2.8 1.8 1.8 1.8 1.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 3.8 4.8 5.8 6.8 7.8 8.4 8.4 1.7 8.4 1.8	178 278	2/8 2/8 1/8 1/8 3/8 3/8 3/8 3/8 3/8 1/8 1/8 1/8 1/8 3/8 1/8 1/8 1/8 3/8 1/8 3/8 1/8 3/8 1/8 3/8 1/8 3/8 1/8 3/8 1/8 3/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1/8 1
内部機				†	自	自 1. 灰 2. 灰白	自 1 灰 2 灰白 1 灰白	自 1 灰 2 灰 白 1 灰 白 双 白	6 L灰 J灰白 Sych Sych	1 D. E.	1 版 1 版 1 版自	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					11 411 111 86 411 48
	/6 橙 7.5YR7/6 橙		N5/ N5/																								
	7.5YR7/6 橙	双 1/4X5/7		5Y6/1)系	5Y6/1 展 7.5Y5/1 展	5Y6/1 灰 7.5Y5/1 灰 2.5Y7/2 灰黄	5Y6/1 灰 7.5Y5/1 灰 2.5Y7/2 灰黄 7.5Y8/1 灰白	5Y6/1 版 7.5Y5/1 版 2.5Y7/2 顾 7.5Y8/1 版 5Y7/1 版自	5Y6/1 版 7.5Y5/1 版 2.5Y7/2 版 7.5Y8/1 版 5Y7/1 版自 5Y8/1 版自	5Y6/1 所 7.5Y5/1 形 2.5Y7/2 所 7.5Y8/1 服 5Y7/1 所 5Y8/1 所 5Y8/1 所 7.5Y6/1 展	5Y6/1 版 7.5Y5/1 5 2.5Y7/2 5 7.5Y8/1 版 5Y8/1 版 7.5Y6/1 5 7.5Y6/1 5 7.5Y6/1 6	5Y6/1 版 7.5Y5/1 5 2.5Y7/2 5 7.5Y8/1 版 5Y8/1 版 7.5Y6/1 5 N3/ 暗版 N5/ 版	5Y6/1 版 7.5Y5/1 E 2.5Y7/2 E 7.5Y8/1 B 5Y7/1 版 5Y8/1 版 7.5Y6/1 E N3/ 暗灰 N5/ 版 5Y5/1 展	5Y6/1 版 7.5Y5/1 版 2.5Y7/2 灰黄 7.5Y8/1 灰白 5Y8/1 灰白 5Y8/1 灰白 7.5Y6/1 灰 N3/ 暗灰 N5/ 灰 5Y5/1 灰 5Y5/1 灰 5Y5/1 灰	5Y6/1 版 7.5Y5/1 版 2.5Y7/2 版 7.5Y8/1 版 5Y8/1 版自 5Y8/1 版自 7.5Y6/1 版 N3/ 暗灰 N5/ 版 5Y5/1 成 5Y5/1 成 5Y7/1 成 5Y7/1 成 5Y7/1 成 5Y7/1 成	5Y6/1 版	5Y6/1 版 7.5Y5/1 版 2.5Y7/2 成遺 7.5Y8/1 成自 5Y7/1 成自 5Y8/1 成 N3/ 暗版 N3/ 暗版 N5/ 版 5Y5/1 成自 5Y7/1 成自 5Y7/1 成自 5Y7/1 成自 5Y7/1 成自 5Y7/1 成自 5Y7/1 成自 5Y7/1 成自	5Y6/1 灰 7.5Y5/1 灰 2.5Y7/2 灰黄 5Y7/1 灰白 5Y8/1 灰白 5Y8/1 灰白 7.5Y6/1 灰 NS/ 暗灰 NS/ 哈灰 5Y7/1 灰白 5Y7/1 Ch 5Y7/1 Ch 5Y7	5Y6/1 版 7.5Y5/1 版 2.5Y7/2 成遺 7.5Y8/1 成白 5Y7/1 成白 5Y7/1 成白 7.5Y6/1 版 N5/ 版 5Y5/1 成白 5Y7/1 (1) 5Y7/1 (1) 5Y	5Y6/1 灰 7.5Y5/1 灰 2.5Y7/2 灰黄 7.5Y8/1 灰白 5Y7/1 灰白 5Y7/1 灰白 7.5Y6/1 灰 N5/ 灰 N5/ 灰 5Y5/1 灰白 5Y7/1 灰白	5Y6/1 版 7.5Y5/1 [5 2.5Y7/2 [5 5Y7/1 [7] 5Y3/1 [7] NS/ 所 NS/ 所 5Y5/1 [7] 5Y5/1 [7] 5Y7/1 [5Y6/1 版 7.5Y5/1 版 2.5Y7/2 成黄 7.5Y8/1 成白 5Y8/1 成白 5Y8/1 成白 7.5Y6/1 成 8Y7/1 成白 5Y7/1 成白 5Y7/1 成白 5Y7/1 成白 7.5Y6/1 成 2.5Y7/2 成黄 10YR7/3 に 3.v.黄橙 10YR7/3 に 3.v.黄橙 2.5Y7/1 成白 7.5Y6/1 成 2.5Y7/1 成白 7.5Y6/1 成 2.5Y7/1 成白 7.5Y6/1 成 2.5Y7/1 成白 7.5Y6/1 成 2.5Y7/1 成白 7.5Y6/1 成 2.5Y7/1 成白 7.5Y6/1 成白 7.5Y8/2 风白 7.5Y8/2 风	5Y6/1 所 25Y7/2 所 25Y7/2 所 5Y7/1 所 5Y7/1 所 5Y5/1 所 5Y5/1 所 5Y5/1 所 5Y7/1 所 5Y7/1 所 5Y7/1 所 5Y7/1 所 5Y7/1 所 5Y7/1 所 25Y7/1 M 25Y7/1 M 25Y7/	5Y6/1 所 7.5Y5/1 所 2.5Y7/2 所 5Y7/1 所信 5Y3/1 所信 5Y3/1 所信 5Y3/1 所信 5Y5/1 所 5Y7/1 所信 5Y7/1 所 5Y8/2 所 25Y7/1 所 25Y8/2 所 25Y8/1 黄 75Y8/1 黄 75Y8/1 黄 75Y8/1 黄 75Y8/8 (6 75Y8/8 (6 75Y8/6 檀 75Y8/7 (6 75Y8/7 (6 75Y8/8 (6 75Y8/7 (6 75Y8/7 (7 75Y8/7 (7 75Y8/7 (7 75Y8/7 (8	5Y6/1 所 7.5Y5/1 所 2.5Y7/2 所 7.5Y8/1 所 5Y7/1 所信 5Y7/1 所 7.5Y6/1 所 5Y7/1 所 5Y7/1 所 5Y7/1 所 7.5Y6/1 所 7.5Y6/1 所 7.5Y6/1 所 7.5Y8/2 所 2.5Y7/1 所 2.5Y7/1 所 2.5Y7/1 所 2.5Y8/2 所 3.5Y8/6 養養養養 5YR7/6 養	5Y6/1 版 7.5Y5/1 D 2.5Y7/2 D 7.5Y8/1 D 5Y7/1 成日 5Y7/1 成 5Y7/1 版 5Y7/1 版 5Y7/1 版 5Y7/1 版 5Y7/1 版 5Y7/1 版 5Y7/1 版 2.5Y7/2 D 2.5Y7/2 D 2.5Y7/2 D 2.5Y7/2 D 2.5Y7/2 D 2.5Y7/2 D 2.5Y7/1 D 2.5Y7/1 D 2.5Y7/1 D 2.5Y7/1 D 2.5Y7/1 D 2.5Y7/1 D 2.5Y7/1 D 2.5Y7/1 D 2.5Y7/1 D 2.5Y8/2 D 2.5Y8/2 D 2.5Y8/2 D 2.5Y8/6 Å 2.5Y8/6 Å 2.5Y8/6 Å 2.5Y8/6 Å	5Y6/1 所 7.5Y5/1 所 2.5Y7/2 所 7.5Y8/1 所 5Y7/1 所占 5Y7/1 所占 5Y7/1 所占 5Y7/1 所 5Y7/1 所 7.5Y6/1 所 5Y7/1 所 7.5Y6/1 所 7.5Y6/1 所 7.5Y6/1 所 7.5Y8/2 所 2.5Y7/1 所 8.5Y7/2 所 2.5Y8/2 所 2.5Y8/2 所 2.5Y8/6 橙 5YR7/6 橙 5YR6/4 に 5YR6/4 に 5Xv.橙 5Xv.橙 5Xv.橙 5Xv.橙 5Xv.橙 5Xv.橙
3.8 (10.7)	-	(11.0)	(9.6)	_	(10.6)	(10.6)	(10.6)	(10.6)	(10.6)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (12.7) (7.9)	(10.6) (11.0) (12.7) (18.5) (7.9) (7.9) 3.7 (6.2)				
(13.8)		÷	Ą		麥	柳乡	柳 今 柳	E W E W	W & W & W	# \$ # \$ # \$ (1944)													(15.8) (10.2) (7.4) (11.6) (11.6) (11.6)	(11.6) (11.6) (11.6) (11.6) (11.6) (11.6) (11.6) (11.6)	(15.8) (10.2) (7.4) (11.6) (11.6) (11.6) (11.6)	(194) (102) (7.4) (1.6) (1.6) (1.6) (1.6) (1.6)	(11.6) (19.4) (19.4) (11.6) (1
(東 ・		± -⊕	中 ・ ・ ・	# **		少.中	日 日 シ ・	田 田 田 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	→	まり 中 思 中 田 田 中 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	東	ままます。 課 課 毎 日 毎 日 日	中 果 黒 田 中 田 中 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	ませ、課、課、申・申・申・申・申・申・申・申・申・申・申・申・申・申・申・申・申・申		日 日 墨 田 墨 墨 田 墨 墨 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	日 日 曜 日 羅 羅 羅 羅 羅 羅 羅 羅 泰 参 今 今 今 今 今 今 参 参	日 田 羅 田 羅 羅 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	マート 展 展 展 田 展 日 田 田 日 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	現 果 果 果 果 中 果 果 中 中 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	日 日 課 ま 悪 悪 田 悪 悪 田 悪 悪 田 悪 悪 田 悪 悪 田 田 田 田 田	□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	が かん かん かん かん かん かん かん なん をん	□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	日 日 雅 田 羅 羅 田 田 羅 羅 田 田 羅 羅 羅 羅 羅 羅 母 母 母 录 录 录 課 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報	日	→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →
回転扩通回転扩通	11車左扩子		体回転力 底行	回転扩	回転扩		回転行	回転扩通	回転 <i>行。</i> 回転 <i>行。</i> 杯回転 <i>行。</i> 脚不明 (マメツ)	回転 <i>行。</i> 回転 <i>行。</i> 杯回転 <i>行。</i> 脚不明 (マメツ)	回転 ・	回転	回転行。 回転行。 将回販行。 関不明 (マタッ) 回転行。 回転行。	回転	回転行。 回転行。 将回販行。 関不明 (マメッ) 回転行。 回転行。 回転行。	回転げ。 阿町転げ。 柳石町町(マパ) 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。	回転	回転げ。 回転げ。 杯回転げ。 脚不明 (マバ) 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。	回転行。 個転行。 称回転行。 即不明(242) 回転行。 回転行。 回転行。 回転行。 回転行。 回転行。 回転行。	回転げ。 同転げ。 杯回転げ。 脚不明 (スパ) 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 の転げ。	回転げ。 同転げ。 杯回転げ。 脚不明 (スパ) 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。	1転行。 11転行。 5月回転行。 11mm 11mm 11mm 11mm 11mm 11mm 11mm 11m	回転げ。 回転げ。 柳不回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 回転げ。 に繰回転け。 がすれ。 がすれ。 がすれ。 がする。 がす。 がする。 がしる。 がしる。 がしる。 がし。 がしる。 がしる。 がし。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がし。	10版子。 10版子。 50回版子。 10版子。 11版子 11版子。 11版子 11版子 11 版子 11 版 11 医 11 医	回転	回転行。 阿転行。 柳不明 柳不明 (マメン) 回転行。 回転行。 回転行。 回転行。 回転行。 回転行。 回転行。 可転行。 可転行。 可転行。 可転行。 可転行。 不明(オ [*]) が、キ 不明(オ [*] を制 が、キ 不明(オ [*] を制 不明(オ [*] を制 不明(オ [*] を制	回版行。 回版行。 将回能行。 阿取行。 回版行。 回版行。 回版行。 回版行。 回版行。 回版行。 回版行。 回版行。 回版行。 回版行。 可版行。 可版行。 可版行。 可版行。 可版行。 不明(付着物) 317。 不明(付着物)
口縁~体不明 (マメツ) 底回 回 転ヘラキリ未調整 休・広め回転	年 - 中区 回門	(本) (成) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	回転扩		体~高台回 転好, 底不 回明(付着物)			不明 (マメア) 原 回転行 [不明 (マグ) 回 回転 () 回転 () 回転 () を関いています。	不明(マペツ) 回回転行。 回転行。 機 体回転行。 原 底行。 回	不明 (マダ) 回 回転行。 相 回転行。 構 体回転行。 同 成行。 回	不明 (マスツ) 回 回転行。 何 自転行。 格 体回転行。 回 底行。 回転行。 回	不明 (マペ) 回 回転行。	不明 (マスツ) 回 回転行。		不明 (72%) 回転 (7%) 回転 (7%) (4) (5) (6) (7%) (6) (7%) (1%) <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不明 (マグ) 回回転行 個 回転行 個 個 成時 回回転行 回 回転行 回 回 回転行 回 下半体 回転行 回 近 回転行 回 回 回転行 回 心 回転行 回 小 日本行 回 小 日本代 日本代 日本代 日本代 日本代 日本代</td> <td></td> <td></td> <td>不明(マスグ) 回転行 面転行 面転行 回回転行 回回転行 回回転行 回回転行 回転行 回転行 回転行 回転行 回転行 回転行 回転行 回転行 不明(付添和) 不明(付添物) 不明(付添物) 不明</td> <td></td> <td></td>						不明 (マグ) 回回転行 個 回転行 個 個 成時 回回転行 回 回転行 回 回 回転行 回 下半体 回転行 回 近 回転行 回 回 回転行 回 心 回転行 回 小 日本行 回 小 日本代 日本代 日本代 日本代 日本代 日本代			不明(マスグ) 回転行 面転行 面転行 回回転行 回回転行 回回転行 回回転行 回転行 回転行 回転行 回転行 回転行 回転行 回転行 回転行 不明(付添和) 不明(付添物) 不明(付添物) 不明		
高合付杯 高台付杯				高台付杯	高台付杯	直合什杯																					
須恵器 須恵器 須恵器	須恵器 須恵器 須恵器	須恵器 須恵器	須恵器		須恵器	須恵器	(祖里)	対応部	須恵器	須忠帝 須恵器 須恵器	(利用) (利用) (利用) (利用) (利用) (利用) (利用) (利用)	(須恵器 (須恵器 (須恵器	(項惠器 (項惠器 (項惠器 (項惠器	(項惠器 (項惠器 (項惠器 (項惠器	(A)	(有) (有) (有) (有) (有) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	() () () () () () () () () () () () () ((五)	(五) (基) (基) (基) (基) (基) (基) (基) (基) (基) (基	() () () () () () () () () () () () () ((五) (基) (基) (基) (基) (基) (基) (基) (基) (基) (基	(1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	() () () () () () () () () ()	(基本) (基本) (基本) (基本) (基本) (基本) (基本) (基本)			
											(歌)	(計)	(((((((((((((((((((E)	<u>#</u> 23	# Q	超公	\$\tau_{\text{(3)}}	#G	#G	(京) (大) (大)						
(1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	100回	T 120	包含層	包含層	包含層		包含層	包含層包含層	1 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0台層 0台層 0台層 0台層 加米 遺構検出(試 掘トレンチより北)	包合層包合層包合層包合層地合層西半、遺構株出(塩トレンチより北包合層	包含層 日 日 日 日 日 日 日 日 日	包合屬 包合屬 包含屬 包含屬 西半 遺構検出(組作レンチより北 包含屬 包含層 包含層 包含層	句合層	19 19 19 19 19 19 19 19	(1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	100 10	(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	(1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	10 10 10 10 10 10 10 10						
1 区		1区	1区	1区包	1区	_	-	MM											 		 	 	 	 	 	 	
	647	250 1	251	252	253	_	254	+					 	 	 				 	 		 	 				

1	編																												
1	然 仕半	1/8 未満	1/8 米瑞	8/8	8/8	1/8 未満	1/8 未満	1/8 米謝	1/8 未満	1/8 未満	1/8	8/9	1/8 未謝	1/8 米謝	1/8 未満	4/8	8/2	8/8	8/8	1/8	1/8 未満	3/8	1/8 未謝	1/8	2/8	3/8	3/8	1/8 未満	8/2
	内部	7.5YR5/4 にぶい褐	10YR8/3 浅黄橙	10YR4/2 灰黄褐	5Y8/2 灰白	N6/ 灰	2.5GY5/1 オ リーブ 灰	7.5Y6/3 t ŋ-ブ黄	2.5Y6/1 黄灰	N7/ 灰白	5Y6/1 灰	N5/ 灰	5Y7/1 灰白	2.5Y7/2 灰黄	10Y8/1 灰白	7.5Y6/1 压	N7/ 灰白	10YR8/3 浅黄橙	7.5YR7/6 橙	5Y6/1 灰	2.5Y7/1 灰白	N7/ 灰白	N7/ 灰白	N7/ 灰白	N7/ 灰白	2.5Y6/1 黄灰	7.5Y6/1 灰	N6/ 灰	N6/ №
色調		7.5YR6/4 7 にぶい橙 ほ	10YR8/3 浅黄橙	5YR5/4 に ぶい赤褐 	5Y8/2 灰白 5	N6/ 灰 N	5GY5/1 # 2 リープ 派	7.5Y5/3 灰 7 ポリープ		10Y7/1 灰白	灭			2.5Y7/3 浅黄 2	7.5Y7/2 灰白 1	灰白	N2/黒	7.5YR8/6 1 浅黄橙 淀	2.5Y6/2 灰黄 7	10YR6/1 褐灰 5	1016/2 本 2	N7/ 灰白	N7/ 灰白 N	N7/ 灰白 N	N7/	2.5Y7/1	7.5Y7/1	7.5Y7/1 灰白 1	N7/死自
	から (cm)	7.2	コ型	ిబ	2.	Z	56	7.4	2.	1(5	Z	Z	2.	7.	7.	Z	7.		Ä	<u> </u>	Z	Z	Z	_ Z	. 23	.7	7.	_ <u>Z</u> _
	成径 (cm)				現存厚 2.1											(8.3)	(10.6)	現存厚 1.8							6.3	(6.5)	(6.1)		(10.0)
法量	報 (EB)				現存幅 5.3											3.4	7.0	現存幅 5.9				3.7			3.6	3.7	4.0		2.4
	(CEII)				現存長 5.7			(15.0)			(5.4)			(15.7)		(12.8)	(15.6)	現存長 5.9				(6.3)	(6.1)	(10.0)	(10.9)	(11.3)	(11.1)		細・少 (13.2)
	砂粒	+・多	董 必	中·多	番·今	番・少	番・少	番・今	番・今	細·少	無	± .%	番・今	番・今	祟	盖 · 必	± ₩	番・今	番・今	番・今	番·今	番 · 今	番・分	中・少	土 一 少	出·多	⊕	番・分	番 · 今
胎士	赤色粒 角閃石 雲母																												
	石英· 長石·																												
調整	内面	不明	□緑がメ 体行	不明(付着物)	凸面格子炒料	綠釉	綠釉	綠釉	回転行	回転げ	回転行。	回転拧゛	不明 (冰川)	施釉	緑釉		回転行	凸面縄目タタキ	不明 (マメッ)	回転行	回転行	回転扩	回転行	回転げ	回転行	回転行	回転が、	回転行	回転行
鱛	外面	□縁ヨコナデ 体ハケメ	口縁ョコ・ゲブ 体パメ	口縁即拧, 以下拧,	四面不 明 (マグ)	緑釉	緑釉	緑釉	回転扩	回転扩	回転行	<i>†</i> ,	回転行	施釉	緑釉	ロ縁~体回転 げ、底回転 ハラキリ末調整	回転扩	凹面布目痕	不明 (溶融)	回転扩	灰釉	上半回転vj+ リ未調整 下 半回転扩	回転行	回転扩	口縁~体回 転行。 底回 転 が 判後げ	口縁~体回転 ゲ 底回転 が判末調整	口縁~体回転 げ、底回転 ハラキリ末調整	回転扩	ロ縁~体回 転方、 回転 クラキリ後ナデ
45	配価	ᇔ	搬	篡	平瓦	椀	椀	松	鳚	円面硯	啣	闿	粼	椀	椀	茶	高台付杯	平瓦	ふいば の治口	铟	桕	本	杯	杯	林	桥	奔	杫	Ħ
74.47	電 類	工師器	上前器	上師器	瓦	緑釉陶器	綠釉陶器	綠釉陶器	陶器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	青磁	緑釉陶器	須恵器	須恵器	瓦		灰釉陶器?	灰釉陶器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器
1	層瓜																												
ク井里	国伸石	包含層	包含層	包含層	包含層	試掘トレンチ	旧耕作土	旧耕作土	旧耕作土	旧耕作土	旧耕作土	表土掘削	旧耕作土	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	床土層	包含層	包含層(拡張部)	包含層	SX12 東半	SX13	SX12 東半	包含層	包含層	SX12 西半	包含層
-	M	1 🗵	<u> </u>	1 🗵	1 🗵	$2 \times$	2 🗵	2	2⊠	2区	$2 \times$		-	\neg	2 <u>X</u>	2	2 <u>X</u>	2 🗵	2 🗵	2	2 🗵	23 X	2 <u>X</u>	2区	2 🗵	2 K	2 🗵	2 <u>X</u>	2 🗵
奉羅	番号	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	788	588	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303

:	備考															同心円の切り 込み							
	備															同心円込み							
1	残存率	8/2	1/8 未満	1/8 未満	3/8	1/8	3/8	1/8 未満	3/8	3/8	1/8	1/8	2/8	1/8 未満	1/8	8/8	3/8	1/8 未満	1/8 未満	8/8	1/8 未満	8/8	1/8 未満
fi	内部	5Y7/1 灰白	2.5Y7/1 灰白	7.5Y7/1 灰白	5Y7/6 橙	5YR6/6 橙	10YR5/2 灰黄褐	N7/ 灰白	5Y7/1 灰白	N5/	N5/ 灰	10Y5/1)医	5Y6/1 灰	N6/ 灰	7.5YR3/1 黒褐	5Y8/1 灰白	N5/ 灰白	0YR8/2 灰白	2.5Y8/2 灰白	7.5Y6/1 胚	7.5Y5/2) オリープ	2.5Y5/1 黄灰	10Y6/2 # 1-7. 压
色調	外部	5Y7/1 灰白 5	2.5Y7/1 灰白 2	7.5Y7/1 灰白 7	5Y7/6 橙 5	5YR6/6 橙	5YR7/6 橙 1	N6/ 灰	5Y6/ 1)账 5	N5/ 灰	N5/ 灰 N	10Y6/1 胚 1	5Y5/1 灰 5	7.5Y5/1 灰 1	7.5YR7/6 橙 7	5Y8/1 灰白 5	7.5Y5/1)系 1	10YR8/2 灰白 10YR8/2 灰白	7.5Y7/2 灰白 2	7.5Y6/1 压 7	7.5Y5/2 灰 オリープ	2.5Y5/2 暗 灰黄	10Y5/1 医 1
	その他 (cm)	2	2	2	5	2	2	N	2		N		2	7	7	2	2	1	2	2	7	20	1
法量	底径 (cm)	(15.0)			(10.9)	(8.9)						(14.8)			(9.1)		(11.6)			現存厚 1.7		現存厚 2.0	
兼	(wo) 學器				1.8	3.2											2.1			現存幅 3.6		現存幅 7.5	
	口径 (cm)			(26.0)	(14.0)	(13.6)	(13.7)		(11.5)	(10.6)	(14.6)		(15.8)				中・少 (14.6)			現存長 5.5		現存長 3.2	
	砂粒	無·少	番・少	⊕ .÷	番・少	± ₩	番・今	細·少	粗·少	+ - 今	蓋·少	雅·少	番・今	無·少	番 · 今	細・少	中・小	番・今	無· 少	雅·少	無·少	業 少	番・今
	三 雲母																						
胎土	赤色粒 角閃石																						
	石英· 長石 赤色																						
教司	内面 年	体回転 <i>行</i> 。 底 が	回転げ゛	口縁回転ナ デ 頸姉メ	3247°	回転行	N7.X	回転行。	回転扩	回転扩	回転行	拧 *	回転行	綠釉	ヘラミカ*キ	不明 (マメッ)	回転行	不明 (マメツ)	緑釉	凸面縄目タタキ	緑釉	凸面縄目タタキ	緑釉
調整	外面	体回転ペラケス、リ 体回転行 底回転行、 底行	回転扩	回転行	3017	口緣~体回転 扩 底扩	口縁不明(7 バ) 体ハケメ		口縁回転行 天井回転 <i>冷</i> 判未調整	口緣~体 回転行 底未調整	-	体上半不明 (マバ) 体下 キペラカズリ 高合回転行 底ペラケズリ	回転行	緑釉	(/,*	中心回転行 その他不 明 (剥落)	口縁~体回転 ゲ 底回転 が判未調整	不明 (マグ)	緑釉	凹面布目痕	緑釉	四面不 明 (マメッ)	緑釉
ì	器種	Ш	铟	點	Ш	杯	黑	羅	杯蓋	杯	高杯	쏌	灩	落	苑	不明	国	Ħ	目	平瓦	椀	平瓦	椀
1	種類	須恵器	須恵器	須恵器	上師器	上師器	上師器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	須恵器	綠釉陶器	黒色土器 A 類	不明	須恵器	緑釉陶器	綠釉陶器	瓦	緑釉陶器	瓦	綠釉陶器
:	層位							2層	2層		2層	2 屠	2層	1層	2 厘		-17	2層					
1 1 1	遺構名	包含層	包含層	包含層	包含層	包含層(拡張部)	包含層	包含層	包含層	包含層 P7	包含層	包含層	包含層	包含層	包含層	遺構検出 南西	西半 表土直下の精査	東半 包含層	中央 遺構検出(地山の礫層より西)	中央 遺構検出(地山の礫層より西)	東半 撹乱	調査区壁切り	搅乱 東半
無		2区 包	2区 包	2区 包	2区 包	2区 包	2 区 区	3区 包	3区	3区	3区 包	3 区 百	3区 包	4 区 有	4 区	4 区 三	5 	5区	5 \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	5 K	図9	<u>₩</u>	7 K
科	番号	304	305	908	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325

第4表 石器観察表

326 4区 遺機検出 (北半) 不 石鏃 1.6 1.1 0.4 0.48 中 327 1区 柱上層 7 石鏃 1.4 1.4 0.3 0.45 中 328 2区 SP177 7 7 1.2 0.3 0.62 中 330 2区 PP213 7 1.9 1.7 0.3 0.65 下 331 2区 SP213 7 0.3 0.81 下 331 2区 同半 遺機検出 (出田部) 万 万 1.9 1.7 0.3 0.81 下 332 1区 遺機検出 (出田部) 万 万 万 1.4 2.1 0.3 0.75 下 333 3区 団体 (出地) 万 万 万 0.3 0.75 下 334 5区 団体 (出地) 万 万 0.3 0.4 下 334 5区 団体 (出地) 万 万 0.3 0.4 下 335 1区 大 大 0.3 0.4 下 336 3区 団体 (出地) 万 0.3 0.4 下 337 3区 団本 (連棒検出) 万 0.3 0.	報文番号	調査区	遺構名	層位	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	石材	備考
1区 床土層 工業権検出 工業権検出 工業権検出 14 14 14 0.3 0.45 円 2区 SP17 中央一百 包含層 茶色シルト 石鎌 21 1.6 0.25 0.66 0.65 0.66 0.75 <td>326</td> <td>4 🗵</td> <td>遺構検出(北半)</td> <td></td> <td>石鏃</td> <td>1.6</td> <td>1.1</td> <td>0.4</td> <td>0.48</td> <td>ተ<i>አ</i>ታለጉ</td> <td></td>	326	4 🗵	遺構検出(北半)		石鏃	1.6	1.1	0.4	0.48	ተ <i>አ</i> ታለጉ	
2区 PHTATEDRAL DEM 石鏃 21 1.2 0.2 0.6 0.6 2区 中央~西 包含層 茶色シルト 石鏃 1.9 1.7 0.3 0.6 0.6 2区 田羊 遠標検出 (SH13 西側) 石鏃 21 1.9 1.7 0.3 0.75 0.75 3区 田羊 遠標検出 (JLT) 田羊 直標検出 (JLT) 1.4 2.1 0.4 0.75 0.75 1区 田羊 連構検出 田羊 連構検出 日本 石鏃 石鏃 1.4 0.3 0.40 0.75 3区 田羊 連構検出 田羊 連構検出 田羊 直標検出 日本 1.7 0.8 0.40 0.75 0.75 <td>327</td> <td>1 🗵</td> <td>床土層</td> <td></td> <td>石鏃</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>0.3</td> <td>0.45</td> <td>ተ<i>አ</i>ታለጉ</td> <td></td>	327	1 🗵	床土層		石鏃	1.4	1.4	0.3	0.45	ተ <i>አ</i> ታለጉ	
5区 中央~西 包含層 茶色シルト 石鏃 21 1.6 0.5 0.66 0.66 2区 SP213 日本 遺構検出 (SH13 西側) 石鏃 1.9 1.7 0.3 0.81 0.81 1区 西半 遺構検出 (北西部) 石鏃 2.1 1.0 0.3 0.75 0.53 3区 SH03 A (北東) A (北東) 石鏃 1.4 2.1 0.4 0.97 5区 西半 宣構検出 本土 石鏃 7.6 1.8 1.3 0.8 1.34 3区 西半 遺構検出 本土 石鏃 石鏃 2.6 1.8 0.3 1.65 1.65 3区 西半 遺構検出 田本 金藤 田本 五十 2.6 1.8 0.3 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.65 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60 1.60	328	2 🗵	SP177		石鏃	2.1	1.2	0.3	0.62	ተ ጾታለጉ	
2区 西半 遺構検出 (SH13 西側) 石鏃 1.9 1.7 0.3 0.81 1区 遺構検出 (SH13 西側) 石鏃 2.1 1.0 0.3 0.75 3区 清橋検出 (北東) 石鏃 1.4 2.1 0.4 0.53 万 5区 西半 包含層 茶色シルト 石鏃 3.0 1.5 0.4 0.97 1.34 1区 表土 石鏃 石鏃 1.8 1.4 0.3 0.86 1.34 3区 西半 遺構検出 田本・遺構検出 石鏃 7.8 1.7 0.8 1.65 1.65 1区 白合層 田本・遺構検出 田本・白色層 田本・白色層 田本・白色層 1.7 0.8 0.40 1.7	329	2 X	包含層		石鏃	2.1	1.6	0.25	99:0	ተ <i>አ</i> カイト	
2区 西洋 造構検出 (SH13 西側) 石鏃 21 1.0 0.3 0.75 75 3区 3区 SH03 A (北東) A (北東) <td>330</td> <td>2 X</td> <td>SP213</td> <td></td> <td>石鏃</td> <td>1.9</td> <td>1.7</td> <td>0.3</td> <td>0.81</td> <td>ተ<i>አ</i>カイト</td> <td></td>	330	2 X	SP213		石鏃	1.9	1.7	0.3	0.81	ተ <i>አ</i> カイト	
1区 遺構検出 (北西部) 石鏃 22 1.3 0.2 0.53 3区 SH3 A (北東) 万 石鏃 1.4 2.1 0.4 0.97 1 5 区 西半 自合層 茶色シルト 石鏃 1.5 0.3 1.34 1.34 3 区 西半 遺構検出 石鏃 1.8 1.4 0.3 0.86 1.65 3 区 西半 遺構検出 石鎌 7.6 1.8 0.3 1.65 1.65 1 区 白合層 田 研石 2.6 1.7 0.8 0.25 0.40	331	2 K			石鏃	2.1	1.0	6.3	0.75	ተ <i>አ</i> ታለጉ	
3区 SHOR A (北東) 石鏃 石鏃 14 2.1 0.4 0.97 1区 西半 包含層 茶色シルト 石鏃 1.5 0.3 1.34 1.34 1区 表土 工 石鏃 1.8 1.4 0.3 0.86 1.65 3区 西半 遺構検出 石鎌 1.7 0.8 0.25 0.40 1区 包含層 田区 磁石 5.2 4.5 2.1 40.03	332	1 🗵	遺構検出(北西部)		石鏃	2.2	1.3	0.2	0.53	ተ <i>አ</i> ታለጉ	
5区 商羊 包含層 茶色シルト 石鏃 石鏃 30 1.5 0.3 1.34 1区 麦土 五 石鏃 1.8 1.4 0.3 0.86 1.65	333	3 🗵	SH03 A (北東)		石鏃	1.4	2.1	0.4	26.0	ተ <i>አ</i> ታ <mark>ረ</mark> ጉ	
1区 表土 万鏃 7 6 1.4 0.3 0.86 3区 西半 遺構検出 7 0.8 0.8 0.8 0.65 3区 西半 遺構検出 7 0.8 0.25 0.40 1区 包含層 0.8 0.5 0.40 0.8	334	2 X	包含層		石鏃	3.0	1.5	0.3	1.34	ተ <i>አ</i> ታለጉ	
3区 西半 遺構検出 石鎌 26 1.8 0.3 1.65 3区 西半 遺構検出 五 五 五 0.25 0.40 1区 包含層 並行 5.2 4.5 2.1 40.03	335	1	表土		石鏃	1.8	1.4	0.3	98.0	ተ <i>አ</i> ታለጉ	
3区 西半 遺構検出 石錐 石錐 1.7 0.8 0.25 0.40 1区 包合層 紙石 5.2 4.5 2.1 40.03	336	3 🗵			石鏃	2.6	1.8	6.3	1.65	ተ <i>አ</i> ታለጉ	
1区 包含層 砥石 5.2 4.5 2.1 40.03	337	3 🗵			石錐	1.7	8.0	0.25	0.40	ተ <i>አ</i> ታለጉ	
	338	$1 \mathbb{K}$	包含層		砥石	5.2	4.5	2.1	40.03	凝灰岩	

第5表 金属器観察表

報文番号	調査区	遺構名	層位	器種	長さ (cm)	(m) 開	(cm) 숙희	(g)	材質	備老
62	≥ 7	SX16 南西		鎌	3.3	8.9	8.0	37.50	鉄	
114	3 🗵	SD01 南半 (断面 P より南)		鎌	4.8	2.5	0.2	13.13	鉄	
125	3 🗵	SX02 B (南東)		鎌	3.3	4.8	6.0	17.36	鉄	
339	4 🗵	包含層 M1 耳環	1層	直達	2.3	2.5	8.0	13.06	銅地銀張	



調査区全景 東から



1区 完掘全景 東から

図版 2 多肥北原遺跡



1区 完掘全景 西から



2区 完掘全景 南から



2区 完掘全景 東から



3区 第2遺構面完掘全景 西から

図版 4 多肥北原遺跡



4区 完掘全景 東から



4区 完掘全景 西から



5区 完掘全景 東から



5区 完掘全景 南から

図版 6 多肥北原遺跡



6区 完掘全景 東から



6区 完掘全景 西から



7区 完掘全景 西から



7区 完掘全景 東から

図版 8 多肥北原遺跡



1区 東壁土層断面(北端付近) 西から



1区 東壁土層断面 (SX10付近) 西から



1区 南壁土層断面(SH06 付近) 北から



1区 南壁土層断面(SH05付近) 北から



2区 南壁土層断面(SH14付近) 北から



2区 南壁土層断面(SH13付近) 北から



3区 北壁土層断面(SH04 付近) 南から



3区 北壁土層断面(東端) 南から



3区 南壁土層断面(SH01 東半付近) 北から



3区 南壁土層断面 (SH01 中央付近) 北から



4区 北壁土層断面(SH07付近) 南から



4区 北壁土層断面(東端) 南から



7区 南壁土層断面(東半) 北から



7区 南壁土層断面(西半) 北から



8区 南壁土層断面(東半) 北から



8区 南壁土層断面(西半) 北から

図版 10 多肥北原遺跡



SH01 完掘 南から



SH01 煙道断面 南から



SH01 竈部分 東から



SH01 竈部分 東から



SH01 土器出土状況 南から



SH02・SD02 完掘 南から



SH02 南北断面(北半) 西から



SH02 竈焼土出土状況 南から



SH02 竈完掘 南から



SH02 土器出土状況 北から



SH03 完掘 西から



SH03 断面 南西から



SH04 (東半) 完掘 東から



SH04 (東半) 断面 西から



SH04(西半)完掘 南から



SH05 床面検出 北から



SH08 完掘 南から

SH08 完掘 東から



SH08 北壁炭・焼土出土状況 南から



SH09 完掘 東から



SH09 完掘 南東から



SH09 断面 南東から



SH09 北壁焼土検出 南から



SH10 断面 東から



SH11 竈完掘 南から



SH11・13 完掘 南から

図版 14 多肥北原遺跡



SH11 壁溝検出 西から



SH11 煙道部検出 北から



SH11 南北断面(北半) 東から



SH11 煙道断面 北から



SH11 竈炭・焼土検出 南から



SH11 竈断面 南から



SH12 完掘 北から



SH12 断面 南から



SH15 完掘 北から SH15 完掘 東から

図版 16 多肥北原遺跡



SH13·14·15 断面 北から



SX16 完掘 東から



SX16 断面 東から



SX16 竈付近焼土 東から



SX16 土器出土状況 南東から



SB01 完掘 西から



SB02 完掘 東から



SB03 完掘 東から



SB04 完掘 北から



SK03 礫出土状況 南から



SK03 断面 南西から



SK10 断面 南から



SK11 完掘 南から



SK11 断面 東から



SK13 完掘 南東から



SK13 土器出土状況 東から

図版 18 多肥北原遺跡

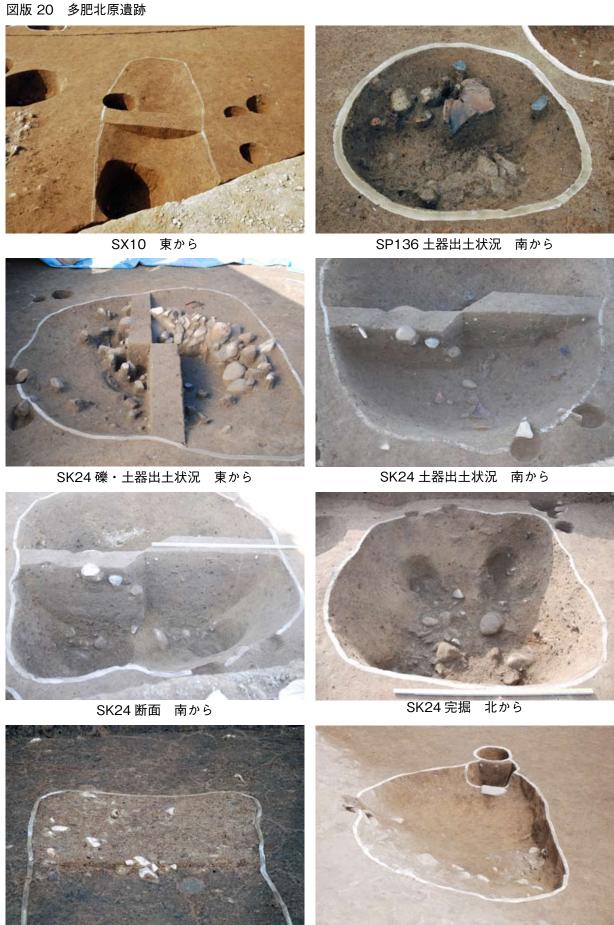


SD01 断面 南から

SD02 断面 北から



SX05 断面 東から



SK06 完掘 南から

SK01 断面 東から



SK06 断面 北から



SK12 完掘 南から

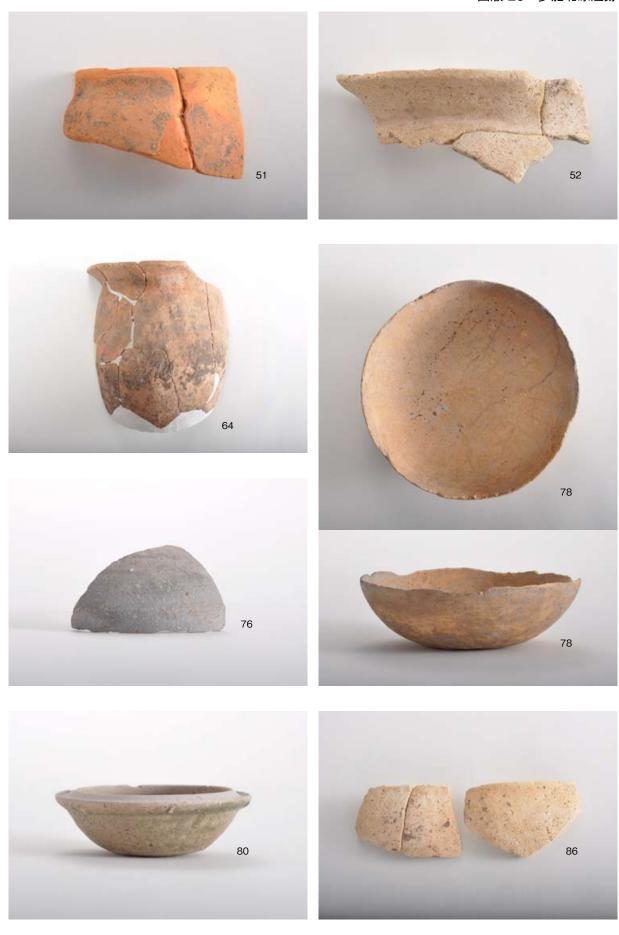


SK12 断面 南東から

図版 22 多肥北原遺跡



図版 23 多肥北原遺跡



図版 24 多肥北原遺跡











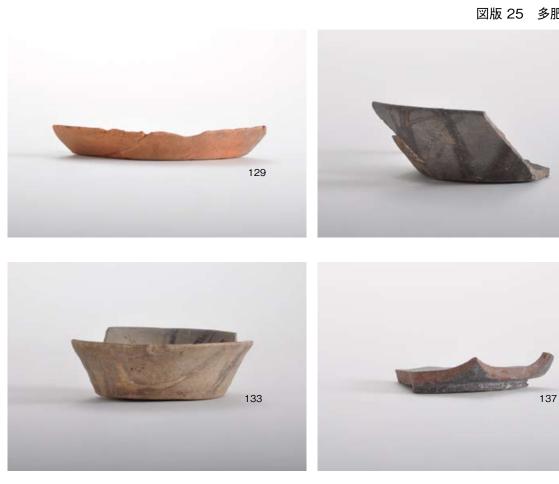






図版 25 多肥北原遺跡

132











図版 26 多肥北原遺跡

















図版 27 多肥北原遺跡

















図版 28 多肥北原遺跡

















図版 29 多肥北原遺跡

















図版 30 多肥北原遺跡









図版 31 多肥北原遺跡





報告書抄録

ふりがな	たひきたはらいせき											
書名	多肥北原遺跡											
副書名	県道太田上町志度線道路改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告											
巻次												
シリーズ名												
シリーズ番号												
編著者名	山下平重											
編集機関	香川県埋蔵文化財センター											
所在地	〒 762-0024 香川県坂出市府中町字南谷 5001-4 Tel 0877-48-2191 Fax 0877-48-3249											
発行機関	香川県教育委員会											
発行年月日	西暦 2012 年 3 月 13 日											
総頁数	目次等	等 本文		視察表	図版		挿図枚数		写真枚数		付図枚数	
112 頁	22 頁	46 頁		13 頁	31 頁		55 枚		1	191 枚		1枚
	前	**りがな 所在地		ード 遺跡 番号	北緯。		東経	調査期間調		調査面 ^元 ㎡	債	調査原因
た ひきたはらいせ 多肥北原遺品		Activition b 具高松市 Progress 上町	37201		34° 17′ 40.5″	_	4° 2′ 3.7″	20090801 ~ 20100331		2,086		県道 太田上町 志度線 道路改築
所収遺跡名	種別 主な時代		弋	主な遺構			主な遺物				特記事項	
多肥北原遺	弥 集落跡	7世紀~奈良時代 平安時代		竪穴建物 掘立柱建物 土坑 井戸 土坑			土師器 須恵器 鉄鎌 耳環 緑釉陶器 灰釉陶器					
要約 (多肥北原遺跡) 7世紀~奈良時代頃の竪穴建物及び掘立柱建物が検出された。当時期の集落遺跡は、 高松平野で数少ないものである。また近くに比定される古代寺院多肥廃寺との関わり を考えさせる平安時代の遺物も出土している。												

県道太田上町志度線道路改築工事に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告

多肥北原遺跡

2012年3月13日

編集 香川県埋蔵文化財センター 〒 762-0024 香川県坂出市府中町字南谷 5001-4 Tel 0877-48-2191 Fax 0877-48-3249

発行 香川県教育委員会 印刷 株式会社 成光社

